令 和 6 年 9 月 2 日

各　　位

米子市総務部契約検査課

入　札　説　明　書

市が行う建設工事の工事希望型指名競争入札を下記のとおり行いますから、希望があれば米子市建設工事執行規則（平成17年米子市規則第106号）及び米子市会計規則（平成17年米子市規則第44号）を承知のうえ参加してください。

記

工事希望型指名競争入札に付する工事	工　事　名	大山広域農道歩道設置工事		
	工事場所	米子市淀江町福岡地内	工期	契約日から 令和7年3月21日まで
契約条項を示す場所		米子市総務部契約検査課		
担　当　課		農林課		
入札保証金に関する事項		入札保証金　免除		
現場説明会		なし		
開札の日時及び場所		日時　令和6年9月18日　午前10時30分　開札 場所　本庁舎202会議室		
契約保証に関する事項		請負代金の額が130万円を超える工事については、契約の締結と同時に請負代金額の10分の1以上の額を保証する次の各号の一に掲げる保証を付さなければならない。 (1)　契約保証金の納付 (2)　契約保証金に代わる担保となる有価証券等の提供 (3)　銀行若しくは市長が確実と認める金融機関又は保証事業会社（公共工事の前払金保証事業に関する法律（昭和27年法律第184号）第2条第4項に規定する保証事業会社をいう。以下同じ。）の保証 (4)　公共工事履行保証証券による保証 (5)　履行保証保険契約の締結		
前　払　金		有　　40%以内　※ただし、請負代金の額が130万円を超える場合に限る		
部　分　払		有　　回数は、米子市建設工事執行規則による　※部分払いに替えて中間前払の選択も可		
入札に関する注意事項		1.　開札前天災地変等のやむを得ない事由が生じたとき、又は競争の意思がないと認められるときは、入札の執行を中止し、又は取り止めることがある。 2.　入札参加者が1者であっても、入札を執行するものとする。 3.　入札に参加する者に必要な資格のない者のした入札及び米子市郵便入札実施要領第4条に定める入札は、無効とする。 4.　入札者は、到達した入札書は、書換え、引換え又は撤回することができない。 5.　入札者は、入札書到達後においても入札執行の完了までは入札の参加を辞退することができる。 6.　落札となるべき価格と同一価格の入札をしたものが2人以上あるときは、当該入札者にくじを引かせて、落札者を決定するものとする。この場合において、くじを引くべき入札者が、当該入札の立会者として参加している場合はその者が、参加していない場合は入札事務に関与しない職員に当該入札者に代わってくじを引かせるものとする。 7.　本件工事は、米子市建設工事最低制限価格設定要領に定める方法により、予定価格の2/3(ただし、8/10を下回る場合は、8/10とする。)以上で最低制限価格を設定しており、最低制限価格を下回る価格で入札があった場合は、当該入札者を失格とし、予定価格の範囲内の価格で入札した他の者のうち最低の価格をもって入札した者を落札者とする。 8.　入札書に工事費内訳書が同封されていない場合は、無効とする 9.　落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に10%に相当する額を加算した金額をもって落札価格（円未満切捨て（単価契約を除く。））とするので、入札者は、消費税に係る課税業者であるか免税業者であるかを問わず、見積った契約希望価格の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。 10.　入札参加者は、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律(昭和22年法律第54号)等に抵触する行為を行ってはならない。 11.　入札回数は、1回とする。		
その他の注意事項		1.　米子市工事希望型指名競争入札実施要領に定める経営内容等が不健全な申込者及び工事成績が不良な申込者は、不指名とすることがある。また、同一入札における資本的、人的関係にある複数の申込者のうち1者のみを指名し、他の者を不指名とすることがある。 2.　申込時に届けのあった配置予定技術者の変更は、入札書差出期限まで変更可能とし、その後の変更は原則として認めないものとする。 3.　同一の主任技術者は、米子市が発注した工事（通常型指名競争入札及び随意契約によるものを除く。）に3件を超えて従事することはできないものとする。 4.　別に定める「建設工事に係る配置予定技術者の取扱いについて」における重複申込者に該当する者は、配置予定技術者重複届出書を所定の方法により提出すること。なお、入札結果により配置予定技術者がいなくなった場合は、失格とする。 5.　工事現場に配置する技術者等（主任技術者、監理技術者及び現場代理人をいう。）は、当該建設業者と直接的かつ恒常的な雇用関係（第三者の介入する余地のない雇用に関する一定の権利義務関係が存在することをいう。）が申込日までに3ケ月以上ある者に限るものとする。		
施工に関する注意事項		1.　工事設計図書　別紙のとおり 2.　本工事の施工にあたっては、鳥取県制定「土木工事共通仕様書」、「土木工事施工管理基準」、「公共建築工事標準仕様書」又はその他別に定める仕様書等に基づき実施しなければならない。 3.　この契約に係る工事の施工にあたっては、ダンプカー協会加入車を優先的に使用するよう努めること。 4.　工事着手前に自治会長及び地元関係者に連絡すること。		
米子市建設工事執行規則第14条により公にする予定価格				¥18,953,000
最低制限価格　（直接工事費＋共通仮設費＋現場管理費の9/10＋一般管理費5.5/10）×1.1				

工　事　設　計　書

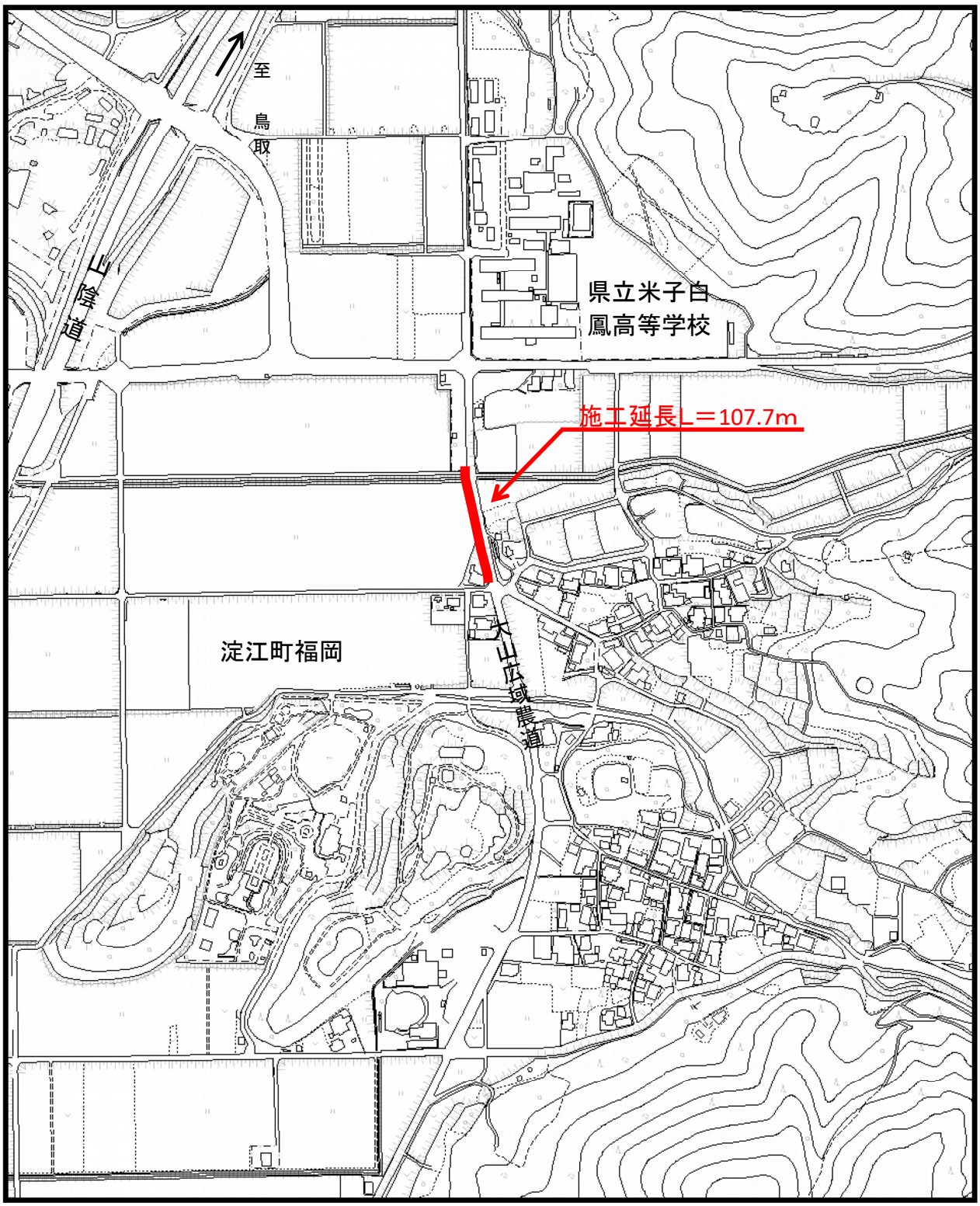
令和　6　年度	工事名	大　山　広　域　農　道　歩　道　設　置　工　事

部長	課長	担当課長補佐	審査	設計

設　計　金　額	円
工　　期	契約日　　から　令和7年3月21日　まで
工　事　場　所	米子市　淀江町福岡　　地内
工　事　概　要	施工延長 L=　107.7　m 道路土工　一式 法面工　一式 擁壁工　一式 カルバート工　一式 排水構造物工　一式 舗装工　一式 縁石工　一式 防護柵工　一式 区画線工　一式 道路付属施設工　一式 構造物撤去工　一式 仮設工　一式

米　子　市

位置図



設　計　数　量　総　括　表

工事区分	工　種	種　別	細　別	規　格	単位	数　量	摘　要
道路改良					式	1	
	道路土工				式	1	
	法面工	植生工			式	1	
			盛土法面	植生シート(盛土部)	m２	31	
	擁壁工				式	1	
		作業土工			式	1	
		場所打擁壁工			式	1	
			重力式擁壁	H=0.90m,1：0.7	m	4.0	
		プレキャスト擁壁工			式	1	
			L型擁壁	H1900	m	6.0	
				H2000	m	6.0	
				H2100	m	14.0	
	カルバート工				式	1	
		作業土工			式	1	
		プレキャストカルバート工			式	1	
			プレキャストボックス	B2000×H1500 L=2.0m	箇所	1	
			継ぎ手工		箇所	1	
			底張工	平均W=2.3m	箇所	1	
	排水構造物工				式	1	
		作業土工			式	1	
		側溝工			式	1	
			路肩側溝	B300×H300,標準部用	m	74.2	
				B300×H300,乗入部用	m	14.2	
				B300×H300,フラット部用	m	12.4	
	舗装工				式	1	
		アスファルト舗装工			式	1	

設　計　数　量　総　括　表

工事区分	工　種	種　別	細　別	規　格	単位	数　量	摘　要
			（車道） 下層路盤	再生クラッシャーラン RC-30,t=11cm	ｍ２	55	
			（車道） 上層路盤	粒度調整砕石 M-30 t=15cm	ｍ２	55	
			（車道） 表層	再生密粒度アスコン t=5cm	ｍ２	55	
			（路肩） 路盤	粒度調整砕石 M-30 t=15cm	ｍ２	4	
			（路肩） 表層	再生密粒度アスコン t=5cm	ｍ２	4	
			（歩道） 路盤	再生クラッシャーラン RC-30 t=10cm	ｍ２	220	
			（歩道） 表層	再生密粒度アスコン t=3cm	ｍ２	220	
	縁石工				式	1	
		作業土工			式	1	
		縁石工			式	1	
			歩車道境界ブロック	BSC3	ｍ	4.1	
				乗入部用	ｍ	3.9	
			地先境界ブロック	BB3	ｍ	44.8	
	防護柵工				式	1	
		防止柵工			式	1	
			転落防止柵	コンクリート用 GP　H=1100	ｍ	39	
	区画線工				式	1	
		区画線工			式	1	
			ペイント式区画線	実線,白色,W=15cm	ｍ	105	
	道路付属施設工				式	1	
		道路付属物工			式	1	
			張コンクリート	t=7cm	ｍ２	6	
	構造物撤去工				式	1	
		構造物取壊し工			式	1	
			コンクリート 構造物取壊し	鉄筋	ｍ３	3.3	
				無筋	ｍ３	0.3	

設　計　数　量　総　括　表

工事区分	工　種	種　別	細　別	規　格	単位	数　量	摘　要
			コンクリート切断	t=30cm	m	0.2	
			舗装版取壊し	アスファルト t=5cm	m２	75.6	
				アスファルト t=3cm	m２	11.5	
			舗装版切断	アスファルト t=5cm	m	112	
		運搬処理工			式	1	
			殻運搬処理	コンクリート殻 鉄筋	m３	3.3	8.3t
				コンクリート殻 無筋	m３	0.3	0.8t
				アスファルト殻	m３	4.1	9.6t
	仮設工				式	1	

現　場　説　明　書

令和４年８月10日改正
一般的事項１

1　仕様書

この契約において仕様書とは、特に定めのない限り「鳥取県土木工事共通仕様書」をいう。

2　下請関係の合理化について

(1) この契約に係る工事の的確な施工を確保するため、下請契約を締結しようとする場合は、「建設産業における生産システム合理化指針」及び「鳥取県建設工事における下請契約等適正化指針」の趣旨に則り、優良な専門工事業者の選定、合理的な下請契約の締結、代金支払等の適正な履行、適正な施工体制の確立、下請における雇用管理等の指導等を行い本指針の遵守に努めること。

(2) 中小建設業者に対する取引条件の適正化及び資金繰りの安定化等に資するため、元請業者は下請業者に対して、発注者から受取った前払金の下請業者への支払い、下請代金における現金比率の改善、手形期間の短縮等、下請代金支払の適正化について配慮すること。

(3) 受注者は、下請契約を締結した場合は、施工体制台帳及び施工体系図を発注者に速やかに提出しなければならない。また、当該施工体制台帳及び施工体系図下に変更があったときは、変更が生じた日から20日以内（完成時においては、完成通知書の提出時）に変更後の書類を提出しなければならない。

(4) 工事の一部を第三者に請け負わせる場合、又は工事に伴う交通誘導等の業務を第三者に委託する場合には、市内及び県内業者（以下「市内業者等」という。）との契約に努めること（優先順位は市内、県内の順位とする）。ただし、技術的に施工又は対応できる市内業者等がいない工事等を請け負わせ又は業務を委託する場合、あるいは市内業者等で施工できても工程的に間に合わない等、特段の理由がある場合は、この限りでない。

3　建設資材等について

(1) 工事に使用する資材については適法に生産されたものとする。

(2) この契約に係る建設資材納入業者との契約に当たっては、当該業者の利益を不当に害しないよう公正な取引を確保するよう努めること。

(3) 工事に使用する資材については、「県土整備部リサイクル製品使用基準」に基づき、リサイクル製品を積極的に活用すること。

(4) リサイクル製品以外の工事に要する資材の使用順位は、次のとおりとする。

① 市内産の資材がある場合は、市内産の資材の使用に努めること。ない場合は、県内産について同様の取り扱いとする。

② 県外産の資材を使用する場合は、市内に本社又は営業所、支店等を有する販売業者（以下「市内販売業者」という。）から購入した資材の使用に努めること。市内販売業者がないときは、県内販売業者について同様の取り扱いとする。ただし、当該資材について市内販売業者又は県内販売業者がない場合は、この限りでない。

4　工事の安全確保について

この契約に係る工事の施工に当たっては、労働安全衛生法、労働安全衛生規則等を遵守し、労働災害の防止に努め、また工事中の交通事故防止について、特に留意すること。

5　建設機械の使用について

(1) 標準操作方式建設機械を使用するよう努めること。

(2) 施工現場及びその周辺の環境改善を図るため、低騒音型・低振動型の建設機械を使用するよう努めること。

(3) 排ガス対策型建設機械の使用については、排ガス対策型建設機械の使用基準について（平成17年11月15日付第200500080172号県土整備部長通知）によること。

6　団体加入車の使用促進について

「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（以下「法」という。）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体の設立状況を踏まえ、同団体への加入車の使用を促進するよう努めること。

7　ダンプトラック等による運搬について

(1) 積載重量制限を超えて工事用資機材等を積み込まず、また積み込ませないようすること。

(2) さし枠装着車、不表示車等による違法運行は行わず、また行わせないようにすること。

(3) 過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から工事用資機材等の引渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。

(4) 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし枠装着車、不表示車等による違法運行を行っている場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。

(5) 建設副産物の処理及び工事用資機材等の搬入・搬出等に当たって、下請事業者及び工事用資機材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。

(6) 過積載を行っている資材納入業者から資材を購入しないこと。

(7) 産業廃棄物の運搬車については、車体の外側に、環境省令で定めるところにより、産業廃棄物の収集又は運搬の用に供する運搬車である旨その他の事項を見やすいように表示し、かつ、当該運搬車に環境省令で定める書面を備え付けること。また、産業廃棄物処理業者に委託して産業廃棄物を運搬する場合、この表示、備え付けを行わせること。

(8) 以上のことにつき、元請建設業者は下請建設業者を十分指導すること。

8　不正軽油使用の禁止について

工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む）並びに建設機械等の燃料として、地方税法（昭和25年法律第226号）に違反する軽油等を使用しないこと。

9　建設業退職金共済制度への加入等

(1) 建設業者は、建設業退職金共済制度（以下「建退共」という。）に加入すると共に、その建退共の対象となる労働者について証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に証紙を貼付すること。ただし、下請けを含むすべての労働者が、中小企業退職金共済制度、清酒製造業退職金共済制度、林業退職金制度のいずれかに既に加入済みで、建退共に加入することができないと認められる場合は、この限りでない。

(2) 建設業者が下請契約を締結する際は、下請業者に対してこの制度の趣旨を説明し、原則として証紙を下請の延労働者数に応じて現物交付することにより、下請業者の建退共加入及び証紙の貼付を促進すること。なお、現物を交付することができない場合は、掛金相当額を下請代金中に算入することとし、契約書等に明記すること。

(3) 受注者は、工事現場に「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識を掲示すること。

10　建設業法の遵守について

(1) 建設業法（昭和24年法律第100号）に違反する一括下請その他不適切な形態の下請契約を締結しないこと。

(2) 建設業法第26条の規定により、受注者が工事現場ごとに設置しなければならない専任の主任技術者または、専任の監理技術者については、適切な資格、技術力を有する者（工事現場に常駐して専らその職務に従事するもので、受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係にある者に限る。）を配置すること。

(3) 受注者が工事現場ごとに置かなければならない専任の監理技術者は、１級施工管理技士等の国家資格者等で監理技術者資格者証の交付を受けている者を配置すること。この場合において、発注者から請求があったときは監理技術者資格者証を提示すること。

(4) 建設業法第40条の規定により、受注者は建設現場ごとに「建設業の許可票」を掲示すること。

(5) 上記のほか、建設業法等に抵触する行為は行わないこと。

11　労働基準法の遵守

この契約に係る工事の施工に当っては、労働基準法等の趣旨に則り法定労働時間週40時間を遵守すること。

12　建設業からの暴力団排除の徹底について

(1) 工事の施工に際し、暴力団等の構成員又はこれに準ずる者から不当な要求や妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、監督員に速やかにその旨を報告するとともに、警察に届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。

(2) この場合において、工程等を変更せざるを得なくなったときは、速やかに監督員に協議すること。

13　現場代理人、追加技術者、主任技術者及び監理技術者の雇用関係について

(1) 工事現場に配置する技術者等（技術者等とは、現場代理人、追加技術者、主任技術者、監理技術者及び技能士をいう。）は、所属建設業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあるものでなければならない。

(2) 直接的雇用とは、技術者等とその所属建設業者との間に第三者の介入する余地のない雇用に関する一定の権利義務関係（賃金、労働時間、雇用及び権利構成）が存在することをいい、恒常的な雇用関係とは一定の期間（３か月以上）にわたり当該建設業者に勤務し、日々一定時間以上職務に従事することが担保されていることに加え、技術者等と所属建設業者が双方の持つ技術力を熟知し、建設業者が責任を持って技術者等を工事現場に配置できるとともに技術者等が建設業者が有する技術力を、十分かつ円滑に活用して工事の監理等の業務を行うことができることをいう。

14　労働者の福祉向上について

(1) 建設労働者の適切な賃金水準の確保、社会保険等（雇用保険、健康保険及び厚生年金保険）への加入など、労働者の福祉向上に努めること。なお、健康保険等の適用を受けない建設労働者に対しても、国民健康保険等に加入するよう指導に努めること。

(2) 下請契約の締結に際しては、下請業者へ法定福利費を内訳明示した見積書（標準見積書という。）の提示を求め、提示された場合にはこれを尊重するとともに、社会保険等の法定福利費などの必要経費を適切に考慮するように努めること。

15　産業廃棄物の処理に係る税について

この契約に係る工事で発生する建設廃棄物のうち、鳥取県、岡山県、広島県等の産業廃棄物の処理に係る税条例を施行している自治体内に搬入する建設廃棄物については、産業廃棄物の処理に係る税が課税される場合があるので適切に処理すること。

16　コンクリート構造物に使用するコンクリートの水セメント比

コンクリート構造物の耐久性を向上させるため、一般環境条件の場合のコンクリート構造物に使用するコンクリートの水セメント比は、鉄筋コンクリートについては５５パーセント以下、無筋コンクリートについては６０パーセント以下とする。

17　消費税及び地方消費税の適正転嫁等について

下請契約及び資材購入等において、消費税の円滑かつ適正な転嫁の確保のための消費税の転嫁を阻害する行為の是正等に関する特別措置法（平成25年法律第41号）で禁止された転嫁拒否等行為を行わないなど、適切な対応を行うこと。

18 その他

(1) 工事施工管理資料等については簡略化名称を使用できることとする。ただし、略称については、発注者と協議の上重複しないよう注意し、また、わかりやすく簡単なものとする。

(2) コンクリート構造物については、「コンクリート構造物ひびわれ抑制対策指針」に基づき施工するものとする。

(3) 建設副産物のリサイクル、熱帯木材型枠の削減等、環境対策について積極的に取り組むこと。

(4) 労務費については、法定労働時間週40時間を考慮したものとしている。

(5) 受注者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、受注者は、当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）においても同様の義務を負う旨を定めなければならない。

(6) 舗装単独工事（アスファルト）においては、表層工、基層工及び上層路盤工を自社施工しなければならない。ただし、表層工、基層工及び上層路盤工であっても特殊工法部分についてはこの限りでない。

(7) 契約書第25条第5項の対応については、国土交通省「工事請負契約書第26条第5項（単品スライド条項）運用マニュアル（案）」に基づき請求を行うこと。なお当マニュアル中「工事請負契約書第26条」とあるのは「米子市建設工事請負契約書第25条」と読み替えるものとする。

契約書第25条第6項の対応については、国土交通省「賃金等の変動に対する工事請負契約書第25条第6項（インフレスライド条項）運用マニュアル（暫定版）」に基づき請求を行うこと。

現　場　説　明　書

令和６年６月１日改正
特記事項１

仕様書	本工事の施工に当たっては、契約日現在の次に掲げる仕様書等によること。 ・ 鳥取県土木工事共通仕様書　・ 鳥取県土木工事施工管理基準　・＿＿＿＿＿＿	
工程	~~①（他工事等との調整）~~ ~~②（部分完成、着工保留）~~ ③（施工時間） ~~④（余裕期間設定工事）~~ ~~⑤（鋼材の調達の遅れによる工期の延長）~~ ⑥（週休２日工事）	＿＿＿＿＿については、＿＿＿＿＿＿と関連するので相互の連絡を密にすること。 ＿＿＿＿＿＿については、＿＿＿＿まで＿＿＿＿（　すること　・　しないこと　）。 本工事　の施工時間は、８：３０　～　１７：００　とする。 本工事は、米子市余裕期間設定工事に係る実施要領（令和３年４月１日施行）の対象工事であり、工事開始日、前払金の請求、技術者の配置及びその他の取扱いについては、同要領の規定による。 工期については、調達公告のとおりとする。 この工事の工期には、鋼材調達期間として、＿＿か月を見込んでいるが、請負者の責に帰することができない事由により鋼材の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、その理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。 本工事は、米子市週休２日工事実施要領（土木工事）（令和３年４月１日施行）の対象工事である。本工事調達公告日時点で最新の同要領の規定に従い週休２日工事を実施すること。
用地関係	~~①（用地・物件等未処理）~~	本工事区間の＿＿＿＿＿＿には＿＿＿＿＿＿があるので、監督員と打合わせのうえ施工を行うこと。 なお、＿＿＿＿＿＿頃＿＿＿＿＿＿の予定である。
支障物件	①（埋設物等の事前調査） ②（支障物件） ~~③（立木の置き場所）~~	工事にかかる地下埋設物等の事前調査については、［~~未調査・~~調査済み］である。 本工事　の施工に当って、水道管　が支障となっているが、本工事着手　までに移設が完了する見込みである。 予定どおり処理できなかった場合は別途協議する。 工事用地内の立木は伐採し、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿に置くこと。
公害対策	①（騒音振動対策）	「建設工事にともなう騒音振動対策技術指針」を順守すること。 本工事の施工に当っては、排出ガス対策型建設機械を使用すること。
安全対策	①（交通安全施設等）	一般交通等に支障を及ぼさないよう十分に注意して施工すること。 なお、交通整理の必要日数＿＿日を見込んでいる。配置人員として、交通誘導員Ａを合計＿＿名（交代要員［有・無］）、交通誘導員Ｂを合計＿＿名（交代要員［有・無］）を見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。 警備業法に規定する警備員を配置する場合においては、交通誘導員Ａ、交通誘導員Ｂの定義は以下のとおりとする。 交通誘導員Ａとは、警備業法第２条第４号に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第１条第４号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る１級検定合格警備員又は２級検定合格警備員をいう。また、交通誘導員Ｂとは、警備業法第２条第３項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員Ａ以外の交通の誘導に従事する者をいう。 なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第１４条で規定する以外の者とし、安全教育、安全訓練等を十分行うこと。この場合は交通誘導員Ｂを配置しているとみなす。
濁水処理排水	①（濁水処理）	工事で発生する濁水に対しては、濁水処理を行うものとし、その工法については、設計図書によるものとする。 なお、これにより難い場合は別途協議すること。

現　場　説　明　書

特記事項２

建設副産物の処理

【建設発生土（処理）】

~~①（他工事等流用）~~

建設発生土は＿＿＿＿＿市・町・村＿＿＿＿＿＿地内の＿＿＿＿＿工事現場に運搬（片道運搬距離＿＿＿＿km）するものとする。

~~②（建設技術センター）~~

建設発生土は＿＿＿＿＿市・町・村＿＿＿＿＿＿地内のセンター事業所に運搬（片道運搬距離＿＿＿＿km）するものとする。なお、処理費として、１m³当たり円をセンターに支払うこと。

③（民間残土受入地）

建設発生土は　米子　市~~・町・村~~　尾高　地内の　有限会社小倉興産　に運搬（片道運搬距離　9.7　km）するものとする。なお、処理費として、１m³当たり　1,700　円を　事業者　に支払うこと。

~~④（土質改良プラント）~~

建設発生土は＿＿＿＿＿市・町・村＿＿＿＿＿地内の＿＿＿＿＿に運搬（片道運搬距離＿＿＿km）するものとする。なお、処理費として１m³当り＿＿＿＿＿円を＿＿＿＿＿に支払うこと。

【コンクリート塊・アスファルト塊・建設発生木材（処理）】

⑤（分別解体等）

コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。その方法は、別表のとおりとする。

なお、その費用を下記のとおり見込んでいる。

コンクリート塊１m³当り　7,416（無筋）/14,810（有筋）円

アスファルト塊１m³当り　157.9　円

~~建設発生木材　１m³当り＿＿＿＿＿円~~

~~⑥（他工事等流用）~~

［Co 雑割材・＿＿＿＿＿］は、＿＿＿＿＿市・町・村＿＿＿＿＿地内＿＿＿＿＿工事現場に運搬（片道運搬距離＿＿＿＿km）するものとする。

⑦（再資源化施設への搬出）

コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材等は、再生資源として、下記の再資源化施設への搬出を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが搬出先を変更する場合は理由を付して協議を行うこと。

再資源化施設業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとにマニフェストを発行するものとする。

なお、再資源化施設へ搬出が完了したときは、書面により報告すること。

（施設の名称・受入れ費用）

コンクリート塊　米子　市~~・町・村~~　淀江町稲吉　地内の　㈱大協組

（運搬距離　3.1　km）、費用１t 当り　800（有筋・無筋）円

アスファルト塊　米子　市~~・町・村~~　淀江町稲吉　地内の　㈱大協組

（運搬距離　3.1　km）、費用１t 当り　1,100　円

~~建設発生木材＿＿＿＿＿市・町・村＿＿＿＿＿地内の＿＿＿＿＿（運搬距離＿＿＿＿km）、費用１t 当り＿＿＿＿＿円~~

~~その他（　　）＿＿＿＿＿市・町・村＿＿＿＿＿地内の＿＿＿＿＿（運搬距離＿＿＿＿km）、費用１t 当り＿＿＿＿＿円~~

（受入れ時間帯）

８時～１７時（平日）

（受入れ条件）

ア　路盤材、土砂、金属片等が、混入していないこと。

イ　コンクリート塊、アスファルト塊の径は500mm 以下であること。

ウ　建設発生木材に関しては、泥等の付着がなく、径＿＿＿＿＿cm 以下、長さ＿＿＿＿＿m以下であること。

エ　２次公害発生の恐れがある物質（廃油等）を含まないこと。

~~⑧（木材市場等へ売却）~~

建設発生木材は＿＿＿＿＿市・町・村＿＿＿＿＿地内の＿＿＿＿＿への搬出（片道運搬距離＿＿＿＿＿km）を想定し、＿＿＿＿円を見込んでいる。これは、他の木材市場等への売却を妨げるものではないが、売却先を変更する場合は理由を付して協議すること。

~~⑨（最終処理等）~~

＿＿＿＿＿＿については、＿＿＿＿＿市・町・村　＿＿＿＿＿地内の産業廃棄物処理場への搬出（片道運搬距離＿＿＿＿km）を想定し、その費用として１t 当たり＿＿＿＿＿円を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は協議を行うこと。

産業廃棄物処理業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとにマニフェストを発行するものとする。

~~⑩（産業廃棄物の処理に係る税）~~

産業廃棄物の処理に係る税に相当する額を＿＿＿＿＿円見込んでいる。

現　場　説　明　書

特記事項３

建設副産物の使用	~~①（建設発生土の使用）~~ ②（再生資材の使用）	＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿工事から〔当該工事運搬・相手方運搬〕の建設発生土を受入れ、使用箇所：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿に使用する。 ~~1)　Ｃｏ雑割材は、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿工事から運搬し、~~ ~~使用箇所：＿＿＿＿＿＿＿＿に使用する。~~ ~~2)　アスファルト・コンクリート切削殻は、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿工事から運搬し、~~ ~~使用箇所：＿＿＿＿＿＿＿＿に使用する。~~ 3)・再生クラッシャーラン〔規格：RC-30、RC-40　〕は、 使用箇所：　路盤、基礎　　に使用する。 ~~・再生コンクリート砂〔規格：ＲＳ　　〕は、~~ ~~使用箇所：＿＿＿＿＿＿＿＿に使用する。~~ 4)　再生加熱アスファルト混合物〔規格：再生密粒度As(13)、再生密粒度As(20)〕は、 使用箇所：　　表層　　に使用する。 ~~5)　その他再生資材〔資材名：　　〕〔規格：　　〕は、~~ ~~使用箇所：＿＿＿＿＿＿＿＿に使用する。~~
工事用道路	①（農地の一時転用について） ②（農地の賃貸借）	本工事を施工するために必要な仮設道路等を農地に設置する目的で、受注者が農地を借地する場合は、事前に所轄農業委員会と協議を行い、農地法第５条第１項に基づく農地一時転用の許可を得ること。 【令和５年４月１日時点で、前工事等の請負業者が一時転用している農地を継続して利用する場合は、以下も記載する。（該当がなければ記載を削除）】 受注者は、前工事等の請負業者が農地一時転用している農地を継続して利用する場合、速やかに変更報告書を作成の上、所轄農業委員会へ提出し、工事完了後はその旨を連絡すること。 ア　＿＿＿の用途に使用するため、＿＿＿市・町・村＿＿＿番地を賃貸借すること。 イ　土地賃貸借契約書に「米子市との建設工事請負契約に基づき、土地の貸借権は米子市が有することとし、原状復旧の責は米子市が負い、受注者がその任に当たるものとする。」を明記すること。 ウ　賃貸人に賃貸借料を支払うこと。 エ　工事完了後、速やかに農地の原状に復旧すること。 オ　イにより契約した地番における、農地一時転用許可は不要である。
仮設備		

現　場　説　明　書

特記事項４

その他

①（労災補償に必要な保険の付保）

本工事において、請負者は労災補償に必要な任意の保険契約を締結すること。なお、この労災補償に必要な保険契約の保険料を予定価格に反映している。

②（現場環境改善）

本工事は、現場環境改善（率計上分）実施対象工事と〔する~~・しない~~〕。

下表の内容のうち原則として各費目（仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）ごとに１実施内容ずつ（いずれか１項目のみ２実施内容）の合計５つの実施内容を実施すること。港湾及び漁港事業は、項目に防災・危機管理関係を含めることができる。

実施に当たっては、施工計画書に実施内容及び実施時期を記載し、実施後に監督員に写真等を提出すること。

地域の状況・工事内容により組み合わせ、費目数及び実施内容を変更する場合は、原則として設計変更は行わないが、その内容（目的に資するものであること）について監督員の確認を受けること。

１内容も実施困難な場合は、監督員と協議の上、設計変更により率計上は行わない。

計上費目	実施内容
仮設備関係	１．用水・電力等の供給設備，２．緑化・花壇 ３．ライトアップ施設，４．見学路及び椅子の設置 ５．昇降設備の充実，６．環境負荷の低減
営繕関係	１．現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） ２．労働者宿舎の快適化 ３．デザインボックス（交通誘警備員待機室） ４．現場休憩所の快適化 ５．健康関連設備及び厚生施設の充実等
安全関係	１．工事標識・照明・安全具等安全施設のイメージアップ（電光式標識等） ２．盗難防止対策（警報機等） ３．避暑（熱中症予防）・防寒対策
地域連携	１．完成予想図，２．工法説明図，３．工事工程表 ４．デザイン工事看板（各工事ＰＲ看板含む） ５．見学会等の開催（イベント等の実施含む） ６．見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 ７．パンフレット・工法説明ビデオ ８．地域対策費等（地域行事等の経費を含む） ９．社会貢献
防災・危機管理関係（港湾・漁港事業）	１．防災訓練（地震・台風等の自然災害に対する訓練）

※明示する項目を＿＿＿＿部分に記入又は追記し、不要部分は――で削除して使用すること。

別表3　　（A4）

建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等（土木工事等）

分別解体等の計画等

工作物の構造 （解体工事のみ）		□鉄筋コンクリート造　□その他（　　）
工事の種類		□新築工事　☑維持・修繕工事　□解体工事 □電気　□水道　□ガス　□下水道　□鉄道　□電話 ☑その他（　道路改良工事　）
使用する特定建設資材の種類 （新築・維持・修繕工事のみ）		☑コンクリート　□コンクリート及び鉄から成る建設資材 ☑アスファルト・コンクリート　□木材
工作物に関する調査の結果	工作物の状況	築年数＿＿＿年 その他（　　）
	周辺状況	周辺にある施設　☑住宅　□商業施設　☑学校 □病院　□その他（　　） 敷地境界との最短距離　約＿0＿m その他（　　）

工作物に関する調査の結果及び工事着手前に実施する措置の内容			工作物に関する調査の結果	工事着手前に実施する措置の内容
	作業場所		作業場所　☑十分　□不十分 その他（　　）	
	搬出経路		障害物　□有（　）　☑無 前面道路の幅員　約＿6.7＿m 通学路　□有　☑無 その他（　　）	
	特定建設資材への付着物（解体・維持・修繕工事のみ）		□有 （　　） ☑無	
	他法令関係（解体・維持・修繕工事のみ）	石綿（大気汚染防止法・安全衛生法石綿則）	□有 特定建設資材への付着（ □有　□無 ） ☑無	
	その他			

工程ごとの作業内容及び解体方法	工程	作業内容	分別解体等の方法（解体工事のみ）
	①仮設	仮設工事　□有　☑無	□　手作業 □　手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事　□有　☑無	□　手作業 □　手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事　□有　☑無	□　手作業 □　手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事　□有　☑無	□　手作業 □　手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事　□有　☑無	□　手作業 □　手作業・機械作業の併用
	⑥その他　　（構造物撤去工）	その他の工事　☑有　□無	□　手作業 □　手作業・機械作業の併用
工事の工程の順序 （解体工事のみ）		□上の工程における⑤→④→③の順序 □その他（　　） その他の場合の理由（　　）	
工作物に用いられた建設資材の量の見込み（解体工事のみ）		トン	

廃棄物発生見込量	特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み（全工事）並びに特定建設資材が使用される工作物の部分（新築・維持・修繕工事のみ）及び特定建設資材廃棄物の発生が見込まれる工作物の部分（維持・修繕・解体工事のみ）	種類	量の見込み	使用する部分又は発生が見込まれる部分（注）
		☑コンクリート塊	9.1トン	□①　□②　□③　□④ □⑤　☑⑥
		☑アスファルト・コンクリート塊	9.6トン	□①　□②　□③　□④ □⑤　☑⑥
		□建設発生木材	トン	□①　□②　□③　□④ □⑤　□⑥
	（注）①仮設　②土工　③基礎　④本体構造　⑤本体付属品　⑥その他			

備考

□欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。

積 算 参 考 資 料

積算参考資料は、工事目的物を完成させるための手段を拘束するものではありません。

事業名	土地改良事業
工事名	大山広域農道歩道設置工事

項　目　名	内　　容
事業主体名	米子市
事業名	土地改良事業
地区名	
工事名	大山広域農道歩道設置工事
施工場所	米子市淀江町福岡地内
工事番号	
工事区分	
積算区分	当初積算
地域区分	鳥取
地区区分	ブロック番号１０
工期	
積算体系年月	令和６年３月
単価期適用年月	令和６年８月－Ａ
歩掛期適用年番号	令和５年４９号－Ａ
電力会社名	中国電力

事業名	土地改良事業
工事名	大山広域農道歩道設置工事

番号	項　目　名	規　　格	数　量	単位	金　額	備　考
	請負工事費					
	・工事価格					
	・消費税相当額（１０％）					
	工事内容					

事業名	土地改良事業
工事名	大山広域農道歩道設置工事

項　目　名	内　　容
工事名	
工事区分	
積算区分	当初積算
積算体系区分	【一般土木工事(明細型)】*
工種区分	道路改良工事
工種体系区分	その他土木工事（１）（明細型）
工事工種体系年番号	令和５年９９号［７号］
契約保証費	計上する
前払金支出割合	35%を超え40%以下
電力区分	低圧・業者持・１年未満
冬期補正	なし
豪雪補正	１０％
亜熱帯補正	なし
公社割引補正	なし
冬期対象期間補正	0.00%
施工地域区分(H31迄)	補正なし
週休２日補正	4週8休以上
冬期補正（現場管理費）	0.00%
熱中症対策補正（現場管理費）	0.00%
施工地域区分	補正なし
現場環境改善費の計上	する
3次元出来形管理補正(共通仮設費)	補正なし
3次元出来形管理補正(現場管理費)	補正なし

事業名	土地改良事業
工事名	大山広域農道歩道設置工事

項　目　名	数　量	単位	金　額	備　考
1 工事価格				
2 ・工事原価				
3 純工事費				
4 ・・直接工事費				
5 ・・・直接工事費（仮設工を除く）	1.000	式		
6 ・・・直接工事費（仮設工）	1.000	式		
7 ・・間接工事費				
8 ・・・共通仮設費				
9 ・・・・運搬費～営繕費等				
10 ・・・・準備費	1.000	式		
11 ・・・・技術管理費	1.000	式		
12 ・・・・現場環境改善費				
13 ・・・・・現場環境改善費（率計上）				
14 ・・・現場管理費				
15 ・・・・現場管理費（率計上）				
16 ・一般管理費等				
17 処分費等（直接工事費の内数）				
18 法定福利費概算額(工事価格の内数)				

事業名	土地改良事業
工事名	大山広域農道歩道設置工事

工　種　名　称	数　量	単位	金　額	備　考
直接工事費（仮設工を除く）内訳				
直接工事費（仮設工を除く）	1.000	式		
・道路改良	1.000	式		
・・道路土工	1.000	式		
・・・ 掘削工	1.000	式		
・・・ 路床盛土工	1.000	式		
・・・ 路体盛土工	1.000	式		
・・・ 法面整形工	1.000	式		
・・・ 残土処理工	1.000	式		
・・法面工	1.000	式		
・・・ 植生工	1.000	式		
・・擁壁工	1.000	式		
・・・ 作業土工	1.000	式		
・・・ 場所打擁壁工	1.000	式		
・・・ プレキャスト擁壁工	1.000	式		
・・カルバート工	1.000	式		
・・・ 作業土工	1.000	式		
・・・ プレキャストカルバート工	1.000	式		
・・・ 継ぎ手工	1.000	式		
・・・ 底張工	1.000	式		
・・排水構造物工	1.000	式		
・・・ 作業土工	1.000	式		
・・・ 側溝工	1.000	式		
・・・ 蓋設置工	1.000	式		
・・舗装工	1.000	式		
・・・ アスファルト舗装工	1.000	式		
・・縁石工	1.000	式		
・・・ 作業土工	1.000	式		
・・・ 縁石工	1.000	式		
・・防護柵工	1.000	式		
・・・ 防止柵工	1.000	式		
・・区画線工	1.000	式		
・・・ 区画線工	1.000	式		
・・道路付属施設工	1.000	式		
・・・ 道路付属物工	1.000	式		
・・構造物撤去工	1.000	式		
・・・ 構造物取壊し工	1.000	式		
・・・ 運搬処理工	1.000	式		

事業名	土地改良事業
工事名	大山広域農道歩道設置工事

工　種　名　称	数　量	単位	金　額	備　考
直接工事費（仮設工）内訳				
直接工事費（仮設工）	1.000	式		
・仮設工	1.000	式		
・・締切工	1.000	式		
・・・ 仮排水管	1.000	式		
・・水替工	1.000	式		
・・・ 水替工	1.000	式		

事業名	土地改良事業
工事名	大山広域農道歩道設置工事

工　種　名　称	数　量	単位	金　額	備　考
準備費内訳				
準備費	1.000	式		
・祠移設	1.000	式		
・・祠移設	1.000	式		
・・・ 祠移設	1.000	式		

事業名	土地改良事業
工事名	大山広域農道歩道設置工事

工　種　名　称	数　量	単位	金　額	備　考
技術管理費内訳				
技術管理費	1.000	式		
・地質調査	1.000	式		
・・地質調査	1.000	式		
・・・ 地盤の平板載荷試験	1.000	式		

事業名	土地改良事業
工事名	大山広域農道歩道設置工事

名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
直接工事費（仮設工を除く）					
・道路改良	1.000	式			
・・道路土工	1.000	式			
・・・ 掘削工	1.000	式			1 式当たり
SP 掘削 土砂,上記以外(小規模),-,-,標準,-,-,-	36.000	m3			歩A・単A S単　19号
SP 掘削 土砂,上記以外(小規模),-,-,標準,-,-,-	7.000	m3			歩A・単A S単　19号
合　計					
・・・ 路床盛土工	1.000	式			1 式当たり
路床盛土 施工幅員2.5m未満	10.000	m3			歩A・単A T単　2号
合　計					
・・・ 路体盛土工	1.000	式			1 式当たり
路体盛土 施工幅員2.5m未満	33.000	m3			歩A・単A T単　3号
路体外盛土 施工幅員2.5m未満	18.000	m3			歩A・単A T単　4号
合　計					
・・・ 法面整形工	1.000	式			1 式当たり
SP 法面整形 盛土部,有り,無し,ﾚｷ質土､砂及び砂質土､粘性土,なし	31.000	㎡			歩A・単A S単　24号
合　計					
・・・ 残土処理工	1.000	式			1 式当たり
SP 土砂等運搬 小規模,ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.28m3(平積0.2m3),土砂(岩塊･玉石混り土含む),無し,1	37.000	m3			歩A・単A S単　22号
0.0km以下					
処分費 残土	37.000	m3			歩A・単A S単　6号
合　計					
・・法面工	1.000	式			
・・・ 植生工	1.000	式			1 式当たり
【法面工（植生ﾈｯﾄ工）】 植生シート工,肥料袋無･人工張芝付(一重ﾈｯﾄ標準),500m2未満,－	31.000	㎡			歩A・単A S単　9号
合　計					
・・擁壁工	1.000	式			
・・・ 作業土工	1.000	式			1 式当たり
SP 床掘り 土砂,上記以外(小規模),-,-	110.000	m3			歩A・単A S単　21号
埋戻し	93.000	m3			歩A・単A T単　1号
SP 基面整正 基面整正	50.000	㎡			歩A・単A S単　23号
合　計					
・・・ 場所打擁壁工	1.000	式			1 式当たり
重力式擁壁	4.000	m			歩A・単A T単　5号
合　計					

事業名	土地改良事業
工事名	大山広域農道歩道設置工事

名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
・・・ プレキャスト擁壁工	1.000	式			1 式当たり
プレキャストL型擁壁 H=1900	6.000	m			歩A・単A T単　6号
プレキャストL型擁壁 H=2000	6.000	m			歩A・単A T単　7号
プレキャストL型擁壁 H=2100	14.000	m			歩A・単A T単　8号
合　計					
・・カルバート工	1.000	式			
・・・ 作業土工	1.000	式			1 式当たり
SP 基面整正 基面整正	5.000	㎡			歩A・単A S単　23号
合　計					
・・・ プレキャストカルバート工	1.000	式			1 式当たり
プレキャストカルバート B2000×H1500	2.000	m			歩A・単A T単　9号
合　計					
・・・ 継ぎ手工	1.000	式			1 式当たり
継ぎ手	1.000	箇所			歩A・単A T単　14号
合　計					
・・・ 底張工	1.000	式			1 式当たり
底張	1.000	箇所			歩A・単A T単　15号
合　計					
・・排水構造物工	1.000	式			
・・・ 作業土工	1.000	式			1 式当たり
SP 床掘り 土砂,上記以外(小規模),-,-	55.000	m3			歩A・単A S単　21号
埋戻し	12.000	m3			歩A・単A T単　1号
SP 基面整正 基面整正	60.000	㎡			歩A・単A S単　23号
合　計					
・・・ 側溝工	1.000	式			1 式当たり
側溝 B300×H300 標準部用	100.800	m			歩A・単A T単　10号
合　計					
・・・ 蓋設置工	1.000	式			1 式当たり
側溝蓋 縁石一体蓋	74.200	m			歩A・単A T単　11号
側溝蓋 乗入部用蓋	14.200	m			歩A・単A T単　12号
側溝蓋 フラット蓋	12.400	m			歩A・単A T単　13号
合　計					
・・舗装工	1.000	式			
・・・ アスファルト舗装工	1.000	式			1 式当たり
SP 下層路盤（歩道部） 100㎜,1層施工,砕石,なし,再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ RC-30	220.000	㎡			歩A・単A S単　44号

事業名	土地改良事業
工事名	大山広域農道歩道設置工事

名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
SP 下層路盤（車道・路肩部） 110mm,1層施工,砕石,なし,再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ RC-30	55.000	㎡			歩A・単A S単　43号
SP 上層路盤（車道・路肩部） 路盤材,粒度調整砕石 M-30,-,-,1層施工,なし,0mm,150mm	59.000	㎡			歩A・単A S単　45号
SP 表層（歩道部） 1.4m以上,30mm,各種(2.30以上2.40t/m3未満),ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ 各種,なし,再生密	220.000	㎡			歩A・単A S単　47号
粒度ｱｽｺﾝ(13)					
SP 表層（車道・路肩部） 1.4m未満1層仕上厚50mm以下,50mm,ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物Ⅰ（2.35t/m3）,ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ	59.000	㎡			歩A・単A S単　46号
各種,再生密粒度ｱｽｺﾝ(20)					
合　　計					
・・縁石工	1.000	式			
・・・ 作業土工	1.000	式			1 式当たり
SP 床掘り 土砂,上記以外(小規模),-,-	5.000	m3			歩A・単A S単　21号
埋戻し	5.000	m3			歩A・単A T単　1号
SP 基面整正 基面整正	15.000	㎡			歩A・単A S単　23号
合　　計					
・・・ 縁石工	1.000	式			1 式当たり
歩車道境界ブロック BSC3	4.100	m			歩A・単A T単　18号
歩車道境界ブロック 乗入部　一体型　カーブ用	3.900	m			歩A・単A T単　16号
SP 地先境界ブロック 設置,C種(150×150×600),有り,無し,-,なし,再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40	44.800	m			歩A・単A S単　51号
合　　計					
・・防護柵工	1.000	式			
・・・ 防止柵工	1.000	式			1 式当たり
【横断・転落防止柵設置】 ｺﾝｸﾘｰﾄ建込,3.0m,ﾋﾞｰﾑ式・ﾊﾟﾈﾙ式,100m未満,ー,無し	39.000	m			歩A・単A S単　14号
合　　計					
・・区画線工	1.000	式			
・・・ 区画線工	1.000	式			1 式当たり
【区画線工】 区画線設置,ﾍﾟｲﾝﾄ式（車載式）,実線,15cm,なし,昼間施工,豪雪補正あり	105.000	m			歩A・単A S単　15号
合　　計					
・・道路付属施設工	1.000	式			
・・・ 道路付属物工	1.000	式			1 式当たり
張りコンクリート	6.300	㎡			歩A・単A T単　17号
合　　計					
・・構造物撤去工	1.000	式			
・・・ 構造物取壊し工	1.000	式			1 式当たり
SP 舗装版切断 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版,15cm以下,-,-	112.000	m			歩A・単A S単　31号
SP 舗装版切断 ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装版,-,15cmを超え30cm以下,-	0.200	m			歩A・単A S単　32号
【構造物取壊し】 有筋,制約無,機械,昼間施工,しない	3.300	m3			歩A・単A S単　10号
【構造物取壊し】 無筋,制約無,機械,昼間施工,しない	0.300	m3			歩A・単A S単　11号
SP 舗装版破砕 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版,無し,不要,15cm以下,-,有り,なし	87.000	㎡			歩A・単A S単　30号

事業名	土地改良事業
工事名	大山広域農道歩道設置工事

名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
合　　計					
・・・ 運搬処理工	1.000	式			1 式当たり
SP 殻運搬 舗装版破砕,機械積込(舗装版厚15cm以下),無し,3.5km以下	4.100	m3			歩A・単A S単　27号
SP 殻運搬 ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし,機械積込,無し,3.3km以下	0.300	m3			歩A・単A S単　28号
SP 殻運搬 ｺﾝｸﾘｰﾄ(鉄筋)構造物とりこわし,機械積込,無し,3.3km以下	3.300	m3			歩A・単A S単　29号
処分費 アスファルト殻	9.600	ton			歩A・単A S単　7号
処分費 コンクリート殻（有筋・無筋）	9.100	ton			歩A・単A S単　8号
合　　計					

事業名	土地改良事業
工事名	大山広域農道歩道設置工事

名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
直接工事費（仮設工）					
・仮設工	1.000	式			
・・締切工	1.000	式			
・・・ 仮排水管	1.000	式			1 式当たり
土のう工 仕拵え～設置～撤去	0.240	m3			歩A・単A S単　16号
高密度ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管機械布設 高密度ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管,600mm,なし	15.000	m			歩A・単A S単　13号
合　計					
・・水替工	1.000	式			
・・・ 水替工	1.000	式			1 式当たり
排水ポンプ設置撤去 １～５台,なし	1.000	箇所			歩A・単A S単　18号
排水ポンプ運転 1,作業時排水,120以上～450未満,発動発電機,なし	1.000	箇所			歩A・単A S単　17号
合　計					

事業名	土地改良事業
工事名	大山広域農道歩道設置工事

名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
準備費					
・祠移設	1.000	式			
・・祠移設	1.000	式			
・・・ 祠移設	1.000	式			1 式当たり
祠移設	1.000	式			歩A・単A
合　計					

事業名	土地改良事業
工事名	大山広域農道歩道設置工事

名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
技術管理費					
・地質調査	1.000	式			
・・地質調査	1.000	式			
・・・ 地盤の平板載荷試験	1.000	式			1 式当たり
地盤の平板載荷試験 100KN以内（載荷板にかかる実荷重）	1.000	箇所			歩A・単A
合　　計					

事業名	土地改良事業
工事名	大山広域農道歩道設置工事

コード	名　称	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	＊＊＊　S単－ 1号　＊＊＊					
	人力土工(盛土・埋戻)		m3		10.000 m3	歩A 当たり算出
	人力土工(盛土・埋戻) 砂・砂質土,埋戻,まき出し,振動ｺﾝﾊﾟｸﾀ(Ⅰ)			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:１０% 基本給時間:8.0	
	1)土質区分 2)作業区分	砂・砂質土 埋戻		超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:4週8休以上	
	3)施工区分 4)締固め区分	まき出し 振動ｺﾝﾊﾟｸﾀ(Ⅰ)		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	特殊作業員	0.200	人			
	普通作業員	0.680	人			
	諸雑費 10%	0.100				
	合　計					算出数量 10.000 m3
	単　価		m3			
	＊＊＊　S単－ 2号　＊＊＊					
	振動ﾛｰﾗ[ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ式]		日		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	振動ﾛｰﾗ[ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ式] 質量0.8～1.1ｔ			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:１０% 基本給時間:8.0	
	1)機械器具賃料コード 2)機械器具規格	質量0.8～1.1ｔ		超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:4週8休以上	
	3)単価の入力			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	振動ﾛｰﾗ[ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ式] 質量0.8～1.1ｔ	1.000	日			
	合　計					算出数量 1.000 各単位
	単　価					
	＊＊＊　S単－ 3号　＊＊＊					
	普通作業員		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	普通作業員			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:１０% 基本給時間:8.0	
	1)労務ｺｰﾄﾞ 2)労務単価算定区分			超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:4週8休以上	
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	普通作業員	1.000	人			
	合　計					算出数量 1.000 人
	単　価					
	＊＊＊　S単－ 4号　＊＊＊					
	特殊作業員		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	特殊作業員			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:１０% 基本給時間:8.0	
	1)労務ｺｰﾄﾞ 2)労務単価算定区分			超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:4週8休以上	
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	特殊作業員	1.000	人			
	合　計					算出数量 1.000 人
	単　価					
	＊＊＊　S単－ 5号　＊＊＊					
	普通作業員		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	普通作業員			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:１０% 基本給時間:8.0	
	1)労務ｺｰﾄﾞ 2)労務単価算定区分			超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:4週8休以上	
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	

事業名	土地改良事業
工事名	大山広域農道歩道設置工事

コード	名　称	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	普通作業員	1.000	人			
	合　計					算出数量 1.000 人
	単　価					
	＊＊＊　S単－ 6号　＊＊＊					
	処分費		m3		1.000	歩A 各単位 当たり算出
	処分費 残土			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:１０％ 基本給時間:8.0	
	1)地域資材単価コード 2)資材規格	残土		超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:4週8休以上	
	3)単価の入力			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	処分費 残土	1.000	m3			
	合　計					算出数量 1.000 各単位
	単　価					
	＊＊＊　S単－ 7号　＊＊＊					
	処分費		ton		1.000	歩A 各単位 当たり算出
	処分費 アスファルト殻			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:１０％ 基本給時間:8.0	
	1)地域資材単価コード 2)資材規格	アスファルト殻		超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:4週8休以上	
	3)単価の入力			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	処分費 アスファルト殻	1.000	ton			
	合　計					算出数量 1.000 各単位
	単　価					
	＊＊＊　S単－ 8号　＊＊＊					
	処分費		ton		1.000	歩A 各単位 当たり算出
	処分費 コンクリート殻（有筋・無筋）			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:１０％ 基本給時間:8.0	
	1)地域資材単価コード 2)資材規格	コンクリート殻（有筋・無筋）		超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:4週8休以上	
	3)単価の入力			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	処分費 コンクリート殻（有筋・無筋）	1.000	ton			
	合　計					算出数量 1.000 各単位
	単　価					
	＊＊＊　S単－ 9号　＊＊＊					
	【法面工（植生ﾈｯﾄ工）】		㎡		1.000	歩A ㎡ 当たり算出
	【法面工（植生ﾈｯﾄ工）】 植生シート工,肥料袋無･人工張芝付(一重ﾈｯﾄ標準),500m2未満,－			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:１０％ 基本給時間:8.0	
	1)施工区分 2)ﾈｯﾄ区分	植生シート工 肥料袋無･人工張芝付(一重ﾈｯﾄ標準)		超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:4週8休以上	
	3)施工規模 4)時間的制約	500m2未満 －		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	植生シート工 肥料袋無･人工張芝付(一重ﾈｯﾄ標準)	1.150	㎡			
	合　計					算出数量 1.000 ㎡
	単　価		㎡			
	＊＊＊　S単－ 10号　＊＊＊					
	【構造物取壊し】		m3		1.000	歩A m3 当たり算出
	【構造物取壊し】 有筋,制約無,機械,昼間施工,しない			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:１０％ 基本給時間:8.0	

事業名	土地改良事業
工事名	大山広域農道歩道設置工事

コード	名　称	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	1)作業区分 2)制約状況	有筋 制約無		超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:4週8休以上	
	3)施工区分Ⅰ 4)施工区分Ⅱ	機械 昼間施工		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	5)低騒音・低振動対策	しない				
	構造物とりこわし工鉄筋構造物 制約無　機械　機労　昼間	1.000	m3			
	合　　計					算出数量 1.000 m3
	単　　価		m3			
	＊＊＊　S単－ 11号　＊＊＊					
	【構造物取壊し】		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	【構造物取壊し】 無筋,制約無,機械,昼間施工,しない			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:１０％ 基本給時間:8.0	
	1)作業区分 2)制約状況	無筋 制約無		超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:4週8休以上	
	3)施工区分Ⅰ 4)施工区分Ⅱ	機械 昼間施工		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	5)低騒音・低振動対策	しない				
	構造物とりこわし工無筋構造物 制約無　機械　機労　昼間	1.000	m3			
	合　　計					算出数量 1.000 m3
	単　　価		m3			
	＊＊＊　S単－ 12号　＊＊＊					
	【排水構造物工】		m		1.000 [各単位]	歩A 当たり算出
	【排水構造物工】 U型側溝,昼間施工,L=2000,1000kg/個以下,なし,-,-,基礎砕石の施			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:１０％ 基本給時間:8.0	
	工有り,再利用撤去を行なわない			超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:4週8休以上	
	1)施工区分Ⅰ 2)施工区分Ⅱ	U型側溝 昼間施工		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	3)規格Ⅰ 4)規格Ⅱ	L=2000 1000kg/個以下				
	5)時間的制約 6)L=1000を使用	なし L=1000を使用しない				
	7)L=4000を使用 8)L=5000を使用	L=4000を使用しない L=5000を使用しない				
	9)法面小段面 10)法面縦排水	- -				
	11)再利用撤去の有無 12)基礎砕石の施工有無	再利用撤去を行なわない 基礎砕石の施工有り				
	排水構造物工 U型側溝 時間的制約無 L=2000mm 1000kg/個以下 機・労 昼間単価	1.000	m			
	合　　計					算出数量 1.000 [各単位]
	単　　価		[各単位]			
	＊＊＊　S単－ 13号　＊＊＊					
	高密度ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管機械布設		m		100.000 m	歩A 当たり算出
	高密度ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管機械布設 高密度ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管,600mm,なし			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:１０％ 基本給時間:8.0	
	1)管の単価(円/m) 2)管種区分	高密度ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管		超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:4週8休以上	
	3)管径区分(mm) 4)長期割引単価区分(賃料機械)	600mm		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	高密度ポリエチレン管	100.000	m			
	土木一般世話役	0.820	人			
	特殊作業員	2.050	人			
	普通作業員	2.980	人			
	ﾊﾞｯｸﾎｳ[ｸﾛｰﾗ型・ｸﾚｰﾝ・～超低・排対型(～2011)] 標準ﾊﾞｹｯﾄ容量 山積0.45m3（平積0.35m3）吊能力2.9t	2.020	日			
	軽油 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油	43.000	L			
	運転手（特殊）	1.520	人			

事業名	土地改良事業
工事名	大山広域農道歩道設置工事

コード	名　称	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	合　計					算出数量 100.000 m
	単　価		m			
	＊＊＊　S単－ 14号　＊＊＊					
	【横断・転落防止柵設置】		m		1.000 m	歩A 当たり算出
	【横断・転落防止柵設置】 ｺﾝｸﾘｰﾄ建込,3.0m,ﾋﾞｰﾑ式・ﾊﾟﾈﾙ式,100m未満,－,無し			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:１０% 基本給時間:8.0	
	1)横断･転落防止柵1m当たり単価 2)作業区分	ｺﾝｸﾘｰﾄ建込		超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:4週8休以上	
	3)支柱間隔 4)規格・仕様	3.0m ﾋﾞｰﾑ式・ﾊﾟﾈﾙ式		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	5)施工規模 6)時間的制約	100m未満 －				
	7)夜間作業	無し				
	横断･転落防止柵 ﾋﾞｰﾑ式・ﾊﾟﾈﾙ式	1.000	m			
	横断･転落防止柵設置(ｺﾝｸﾘｰﾄ建込) ﾋﾞｰﾑ式･ﾊﾟﾈﾙ式　支柱間隔3m	1.350	m			
	合　計					算出数量 1.000 m
	単　価		m			
	＊＊＊　S単－ 15号　＊＊＊					
	【区画線工】		m		1.000 m	歩A 当たり算出
	【区画線工】 区画線設置,ﾍﾟｲﾝﾄ式（車載式）,実線,15cm,なし,昼間施工,豪雪補			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:１０% 基本給時間:8.0	
	正あり			超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:4週8休以上	
	1)作業区分 2)規格（区画線設置）	区画線設置 ﾍﾟｲﾝﾄ式（車載式）		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	3)仕様（区画線設置） 4)幅（区画線設置）	実線 15cm				
	5)時間的制約（区画線設置） 6)施工区分Ⅰ	なし 昼間施工				
	7)豪雪補正の有無（区画線設置） 12)排水性舗装への施工	豪雪補正あり -				
	13)未供用区間への施工	供用区間施工				
	区画線設置 ﾍﾟｲﾝﾄ式(車載式) 供用区間 豪雪有 実線15cm 時間的制約無 機・労 昼間単価	1.000	m			
	合　計					算出数量 1.000 m
	単　価		m			
	＊＊＊　S単－ 16号　＊＊＊					
	土のう工		m3		10.000 m3	歩A 当たり算出
	土のう工 仕拵え～設置～撤去			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:１０% 基本給時間:8.0	
	1)施工区分	仕拵え～設置～撤去		超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:4週8休以上	
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	土のう　化学繊維使用 62cm×48cm	500.000	枚			
	普通作業員	14.500	人			
	合　計					算出数量 10.000 m3
	単　価		m3			
	＊＊＊　S単－ 17号　＊＊＊					
	排水ポンプ運転		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
	排水ポンプ運転 1,作業時排水,120以上～450未満,発動発電機,なし			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:１０% 基本給時間:8.0	
	1)運転日数 2)排水方法	1 作業時排水		超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:4週8休以上	
	3)排水量(m3/ｈ) 4)動力区分	120以上～450未満 発動発電機		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	

事業名	土地改良事業
工事名	大山広域農道歩道設置工事

コード	名　称	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	5)長期割引単価区分(賃料機械)					
	工事用水中ポンプ（潜水ポンプ） 口径150mm	1.200	日			
	工事用水中ポンプ（潜水ポンプ） 口径200mm	2.400	日			
	発動発電機[Ｄ駆動・～超低・排対型(～3次)] 60kVA	1.200	日			
	軽油 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油	56.000	L			
	特殊作業員	0.140	人			
	諸雑費	0.030				
	合　計					算出数量 1.000 箇所
	単　価		箇所			
	＊＊＊　Ｓ単－ 18号　＊＊＊					
	排水ポンプ設置撤去		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
	排水ポンプ設置撤去 １～５台,なし			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:１０％ 基本給時間:8.0	
	1)ポンプ台数区分 2)長期割引単価区分(賃料機械)	１～５台		超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:4週8休以上	
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	ﾊﾞｯｸﾎｳ[ｸﾛｰﾗ型・ｸﾚｰﾝ・～超低・排対型(～2014)] 標準ﾊﾞｹｯﾄ容量 山積0.8m3（平積0.6m3）吊能力2.9t	0.580	日			
	土木一般世話役	0.500	人			
	特殊作業員	0.100	人			
	普通作業員	2.000	人			
	軽油 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油	33.000	L			
	運転手（特殊）	0.500	人			
	合　計					算出数量 1.000 箇所
	単　価		箇所			
	＊＊＊　Ｓ単－ 19号　＊＊＊					
	SP 掘削		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 掘削 土砂,上記以外(小規模),-,-,標準,-,-,-			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:１０％ 基本給時間:8.0	
				超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:4週8休以上	
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)土質 2)施工方法	土砂 上記以外(小規模)				
	3)押土の有無 4)障害の有無	- -				
	5)施工数量 6)火薬使用	標準 -				
	7)破砕片除去の有無 8)集積押土の有無	- -				
	単　価		m3			
	＊＊＊　Ｓ単－ 20号　＊＊＊					
	SP 積込(ルーズ)		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 積込(ルーズ) 土砂,小規模(標準)			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:１０％ 基本給時間:8.0	
				超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:4週8休以上	
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)土質 2)作業内容	土砂 小規模(標準)				
	単　価		m3			

事業名	土地改良事業
工事名	大山広域農道歩道設置工事

コード	名　称	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	＊＊＊　S単－ 21号　＊＊＊					
	SP 床掘り		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 床掘り 土砂,上記以外(小規模),-,-			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:１０％ 基本給時間:8.0	
				超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:4週8休以上	
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)土質 2)施工方法	土砂 上記以外(小規模)				
	3)土留方式の種類 4)障害の有無	- -				
	単　　価		m3			
	＊＊＊　S単－ 22号　＊＊＊					
	SP 土砂等運搬		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 土砂等運搬 小規模,ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.28m3(平積0.2m3),土砂(岩塊･玉石混り土含む)			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:１０％ 基本給時間:8.0	
	,無し,10.0km以下			超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:4週8休以上	
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)土砂等発生現場 2)積込機種･規格	小規模 ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.28m3(平積0.2m3)				
	3)土質 4)DID区間の有無	土砂(岩塊･玉石混り土含む) 無し				
	5)運搬距離	10.0km以下				
	単　　価		m3			
	＊＊＊　S単－ 23号　＊＊＊					
	SP 基面整正		㎡		1.000 ㎡	歩A 当たり算出
	SP 基面整正 基面整正			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:１０％ 基本給時間:8.0	
				超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:4週8休以上	
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)整形区分	基面整正				
	単　　価		㎡			
	＊＊＊　S単－ 24号　＊＊＊					
	SP 法面整形		㎡		1.000 ㎡	歩A 当たり算出
	SP 法面整形 盛土部,有り,無し,ﾚｷ質土､砂及び砂質土､粘性土,なし			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:１０％ 基本給時間:8.0	
				超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:4週8休以上	
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)整形箇所 2)法面締固めの有無	盛土部 有り				
	3)現場制約の有無 4)土質	無し ﾚｷ質土､砂及び砂質土､粘性土				
	5)長期割引単価区分					
	単　　価		㎡			
	＊＊＊　S単－ 25号　＊＊＊					
	SP プレキャスト擁壁設置		m		1.000 m	歩A 当たり算出
	SP プレキャスト擁壁設置 1.0mを超え2.0m以下,有り,有り,なし			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:１０％ 基本給時間:8.0	
				超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:4週8休以上	
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ擁壁高さ 2)基礎砕石の有無	1.0mを超え2.0m以下 有り				

事業名	土地改良事業
工事名	大山広域農道歩道設置工事

コード	名　称	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	3)均しｺﾝｸﾘｰﾄの有無 4)長期割引単価区分	有り				
	単　　価		m			
	＊＊＊　S単－ 26号　＊＊＊					
	SP プレキャスト擁壁設置		m		1.000 m	歩A 当たり算出
	SP プレキャスト擁壁設置 2.0mを超え3.5m以下,有り,有り,なし			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:１０％ 基本給時間:8.0	
				超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:4週8休以上	
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ擁壁高さ 2)基礎砕石の有無	2.0mを超え3.5m以下 有り				
	3)均しｺﾝｸﾘｰﾄの有無 4)長期割引単価区分	有り				
	単　　価		m			
	＊＊＊　S単－ 27号　＊＊＊					
	SP 殻運搬		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 殻運搬 舗装版破砕,機械積込(舗装版厚15cm以下),無し,3.5km以下			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:１０％ 基本給時間:8.0	
				超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:4週8休以上	
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)殻発生作業 2)積込工法区分	舗装版破砕 機械積込(舗装版厚15cm以下)				
	3)DID区間の有無 4)運搬距離	無し 3.5km以下				
	単　　価		m3			
	＊＊＊　S単－ 28号　＊＊＊					
	SP 殻運搬		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 殻運搬 ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし,機械積込,無し,3.3km以下			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:１０％ 基本給時間:8.0	
				超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:4週8休以上	
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)殻発生作業 2)積込工法区分	ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし 機械積込				
	3)DID区間の有無 4)運搬距離	無し 3.3km以下				
	単　　価		m3			
	＊＊＊　S単－ 29号　＊＊＊					
	SP 殻運搬		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 殻運搬 ｺﾝｸﾘｰﾄ(鉄筋)構造物とりこわし,機械積込,無し,3.3km以下			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:１０％ 基本給時間:8.0	
				超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:4週8休以上	
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)殻発生作業 2)積込工法区分	ｺﾝｸﾘｰﾄ(鉄筋)構造物とりこわし 機械積込				
	3)DID区間の有無 4)運搬距離	無し 3.3km以下				
	単　　価		m3			
	＊＊＊　S単－ 30号　＊＊＊					
	SP 舗装版破砕		㎡		1.000 ㎡	歩A 当たり算出
	SP 舗装版破砕 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版,無し,不要,15cm以下,-,有り,なし			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:１０％ 基本給時間:8.0	
				超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:4週8休以上	

事業名	土地改良事業
工事名	大山広域農道歩道設置工事

コード	名　称	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)舗装版種別 2)障害等の有無	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 無し				
	3)騒音振動対策 4)舗装版厚	不要 15cm以下				
	5)Co+As(ｶﾊﾞｰ)舗装によるAs舗装 6)積込作業の有無	- 有り				
	7)長期割引単価区分					
	単　　価		m²			
	＊＊＊　S単－ 31号　＊＊＊					
	SP 舗装版切断		m		1.000 m	歩A 当たり算出
	SP 舗装版切断 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版,15cm以下,-,-			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:１０％ 基本給時間:8.0	
				超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:4週8休以上	
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)舗装版種別 2)ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版厚	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下				
	3)ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装版厚 4)ｺﾝｸﾘｰﾄ+ｱｽﾌｧﾙﾄ(ｶﾊﾞｰ)舗装版	- -				
	単　　価		m			
	＊＊＊　S単－ 32号　＊＊＊					
	SP 舗装版切断		m		1.000 m	歩A 当たり算出
	SP 舗装版切断 ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装版,-,15cmを超え30cm以下,-			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:１０％ 基本給時間:8.0	
				超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:4週8休以上	
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)舗装版種別 2)ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版厚	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装版 -				
	3)ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装版厚 4)ｺﾝｸﾘｰﾄ+ｱｽﾌｧﾙﾄ(ｶﾊﾞｰ)舗装版	15cmを超え30cm以下 -				
	単　　価		m			
	＊＊＊　S単－ 33号　＊＊＊					
	SP 裏込砕石		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 裏込砕石 計上する,なし,再生クラッシャラン RC-40 40～0mm			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:１０％ 基本給時間:8.0	
				超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:4週8休以上	
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)砕石の計上 2)長期割引単価区分	計上する				
	3)規格区分	再生クラッシャラン RC-40 40～0mm				
	単　　価		m3			
	＊＊＊　S単－ 34号　＊＊＊					
	SP コンクリート		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP コンクリート 小型構造物,ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設,計上する,-,一般養生,-,-,-,			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:１０％ 基本給時間:8.0	
	なし,18-8-40(高炉B) W/C65%			超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:4週8休以上	
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)構造物種別 2)打設工法	小型構造物 ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設				
	3)ｺﾝｸﾘｰﾄの計上 4)設計日打設量	計上する -				
	5)養生工の種類 6)圧送管延長距離区分	一般養生 -				
	7)現場内小運搬の有無 8)打設高さ、水平打設距離	- -				

事業名	土地改良事業
工事名	大山広域農道歩道設置工事

コード	名　称	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	9)長期割引単価区分 10)規格区分	 18-8-40(高炉B) W/C65%				
	単　　価		m3			
	＊＊＊　S単－ 35号　＊＊＊					
	SP コンクリート		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP コンクリート 無筋･鉄筋構造物,人力打設,計上する,-,一般養生,-,無し,-,24-8-4			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:１０％ 基本給時間:8.0	
	0(高炉B) W/C60%			超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:4週8休以上	
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)構造物種別 2)打設工法	無筋･鉄筋構造物 人力打設				
	3)ｺﾝｸﾘｰﾄの計上 4)設計日打設量	計上する -				
	5)養生工の種類 6)圧送管延長距離区分	一般養生 -				
	7)現場内小運搬の有無 8)打設高さ､水平打設距離	無し -				
	10)規格区分	24-8-40(高炉B) W/C60%				
	単　　価		m3			
	＊＊＊　S単－ 36号　＊＊＊					
	SP コンクリート		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP コンクリート 無筋･鉄筋構造物,人力打設,計上する,-,一般養生,-,無し,-,18-8-4			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:１０％ 基本給時間:8.0	
	0(高炉B) W/C65%			超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:4週8休以上	
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)構造物種別 2)打設工法	無筋･鉄筋構造物 人力打設				
	3)ｺﾝｸﾘｰﾄの計上 4)設計日打設量	計上する -				
	5)養生工の種類 6)圧送管延長距離区分	一般養生 -				
	7)現場内小運搬の有無 8)打設高さ､水平打設距離	無し -				
	10)規格区分	18-8-40(高炉B) W/C65%				
	単　　価		m3			
	＊＊＊　S単－ 37号　＊＊＊					
	SP コンクリート		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP コンクリート 小型構造物,人力打設,計上する,-,一般養生,-,無し,-,18-8-40(高			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:１０％ 基本給時間:8.0	
	炉B) W/C65%			超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:4週8休以上	
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)構造物種別 2)打設工法	小型構造物 人力打設				
	3)ｺﾝｸﾘｰﾄの計上 4)設計日打設量	計上する -				
	5)養生工の種類 6)圧送管延長距離区分	一般養生 -				
	7)現場内小運搬の有無 8)打設高さ､水平打設距離	無し -				
	10)規格区分	18-8-40(高炉B) W/C65%				
	単　　価		m3			
	＊＊＊　S単－ 38号　＊＊＊					
	SP コンクリート		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP コンクリート 小型構造物,ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設,計上する,-,一般養生,-,-,-,			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:１０％ 基本給時間:8.0	
	なし,18-8-25(20)(高炉B) W/C65%			超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:4週8休以上	

事業名	土地改良事業
工事名	大山広域農道歩道設置工事

コード	名　称	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)構造物種別 2)打設工法	小型構造物 ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設				
	3)ｺﾝｸﾘｰﾄの計上 4)設計日打設量	計上する -				
	5)養生工の種類 6)圧送管延長距離区分	一般養生 -				
	7)現場内小運搬の有無 8)打設高さ、水平打設距離	- -				
	9)長期割引単価区分 10)規格区分	18-8-25(20)(高炉B) W/C65%				
	単　　価		m3			
	＊＊＊　S単－ 39号　＊＊＊					
	SP コンクリート		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP コンクリート 小型構造物,人力打設,計上する,-,一般養生,-,無し,-,24-8-25(20)			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:１０％ 基本給時間:8.0	
	(高炉B) W/C60%			超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:4週8休以上	
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)構造物種別 2)打設工法	小型構造物 人力打設				
	3)ｺﾝｸﾘｰﾄの計上 4)設計日打設量	計上する -				
	5)養生工の種類 6)圧送管延長距離区分	一般養生 -				
	7)現場内小運搬の有無 8)打設高さ、水平打設距離	無し -				
	10)規格区分	24-8-25(20)(高炉B) W/C60%				
	単　　価		m3			
	＊＊＊　S単－ 40号　＊＊＊					
	SP 型枠		㎡		1.000 ㎡	歩A 当たり算出
	SP 型枠 一般型枠,小型構造物			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:１０％ 基本給時間:8.0	
				超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:4週8休以上	
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)型枠の種類 2)構造物の種類	一般型枠 小型構造物				
	単　　価		㎡			
	＊＊＊　S単－ 41号　＊＊＊					
	SP 目地板		㎡		1.000 ㎡	歩A 当たり算出
	SP 目地板 30m2未満,計上する,目地板(瀝青質板) t=10mm			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:１０％ 基本給時間:8.0	
				超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:4週8休以上	
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)1工事当り使用量 2)目地板の計上	30m2未満 計上する				
	3)規格区分	目地板(瀝青質板) t=10mm				
	単　　価		㎡			
	＊＊＊　S単－ 42号　＊＊＊					
	SP ボックスカルバート機械据付		m		1.000 m	歩A 当たり算出
	SP ボックスカルバート機械据付 据付,2.0m/個,1.25＜B≦2.5　1.25＜H≦2.5,均しｺﾝｸﾘｰﾄ,無し,なし			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:１０％ 基本給時間:8.0	
				超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:4週8休以上	
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)作業区分 2)製品長	据付 2.0m/個				

事業名	土地改良事業
工事名	大山広域農道歩道設置工事

コード	名　称	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	3)内空幅･内空高(m) 4)基礎材種別	1.25＜B≦2.5　1.25＜H≦2.5 均しｺﾝｸﾘｰﾄ				
	5)PC鋼材による縦締め 6)長期割引単価区分	無し				
	単　　価		m			
	＊＊＊　S単－ 43号　＊＊＊					
	SP 下層路盤（車道・路肩部）		㎡		1.000 ㎡	歩A 当たり算出
	SP 下層路盤（車道・路肩部） 110㎜,1層施工,砕石,なし,再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ RC-30			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:１０％ 基本給時間:8.0	
				超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:4週8休以上	
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)全仕上り厚 2)施工区分	110㎜ 1層施工				
	3)材料 4)長期割引単価区分	砕石				
	5)材料規格の選択	再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ RC-30				
	単　　価		㎡			
	＊＊＊　S単－ 44号　＊＊＊					
	SP 下層路盤（歩道部）		㎡		1.000 ㎡	歩A 当たり算出
	SP 下層路盤（歩道部） 100㎜,1層施工,砕石,なし,再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ RC-30			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:１０％ 基本給時間:8.0	
				超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:4週8休以上	
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)全仕上り厚 2)施工区分	100㎜ 1層施工				
	3)材料 4)長期割引単価区分	砕石				
	5)材料規格の選択	再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ RC-30				
	単　　価		㎡			
	＊＊＊　S単－ 45号　＊＊＊					
	SP 上層路盤（車道・路肩部）		㎡		1.000 ㎡	歩A 当たり算出
	SP 上層路盤（車道・路肩部） 路盤材,粒度調整砕石 M-30,-,-,1層施工,なし,0㎜,150㎜			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:１０％ 基本給時間:8.0	
				超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:4週8休以上	
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)材料区分Ⅰ 2)平均幅員	路盤材 -				
	3)瀝青材の有無 4)路盤材の有無	なし あり				
	5)施工区分 6)瀝青材区分Ⅰ	1層施工 -				
	7)長期割引単価区分 8)瀝青材1層当り平均仕上り厚	0㎜				
	9)路盤材全仕上り厚 11)材料区分Ⅱ	150㎜ 粒度調整砕石 M-30				
	単　　価		㎡			
	＊＊＊　S単－ 46号　＊＊＊					
	SP 表層（車道・路肩部）		㎡		1.000 ㎡	歩A 当たり算出
	SP 表層（車道・路肩部） 1.4m未満1層仕上厚50㎜以下,50㎜,ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物Ⅰ（2.35t/m3）,ﾌﾟ			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:１０％ 基本給時間:8.0	
	ﾗｲﾑｺｰﾄ 各種,再生密粒度ｱｽｺﾝ(20)			超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:4週8休以上	
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)平均幅員 2)1層当り平均仕上り厚	1.4m未満1層仕上厚50㎜以下 50㎜				
	3)比重区分 4)瀝青材料種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物Ⅰ（2.35t/m3） ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ 各種				

事業名	土地改良事業
工事名	大山広域農道歩道設置工事

コード	名　称	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	6)材料区分	再生密粒度ｱｽｺﾝ(20)				
	単　　価		㎡			
	＊＊＊　S単－ 47号　＊＊＊					
	SP 表層（歩道部）		㎡		1.000 ㎡	歩A 当たり算出
	SP 表層（歩道部） 1.4m以上,30mm,各種(2.30以上2.40t/m3未満),ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ 各種,なし,			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:１０% 基本給時間:8.0	
	再生密粒度ｱｽｺﾝ(13)			超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:4週8休以上	
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)平均幅員 2)1層当り平均仕上り厚	1.4m以上 30mm				
	3)比重区分 4)瀝青材料種類	各種(2.30以上2.40t/m3未満) ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ 各種				
	5)長期割引単価区分 6)材料区分	再生密粒度ｱｽｺﾝ(13)				
	単　　価		㎡			
	＊＊＊　S単－ 48号　＊＊＊					
	SP 歩車道境界ブロック		m		1.000 m	歩A 当たり算出
	SP 歩車道境界ブロック 再利用設置,各種(1000～2000mm､150～550kg未),無し,無し,-,なし			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:１０% 基本給時間:8.0	
				超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:4週8休以上	
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)作業区分 2)ﾌﾞﾛｯｸ規格	再利用設置 各種(1000～2000mm､150～550kg未)				
	3)基礎砕石の有無 4)均し基礎ｺﾝｸﾘｰﾄの有無	無し 無し				
	5)養生工の有無 6)長期割引単価区分	-				
	単　　価		m			
	＊＊＊　S単－ 49号　＊＊＊					
	SP 歩車道境界ブロック		m		1.000 m	歩A 当たり算出
	SP 歩車道境界ブロック 設置,C種(180/210×300×600),有り,無し,-,なし,再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:１０% 基本給時間:8.0	
	40			超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:4週8休以上	
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)作業区分 2)ﾌﾞﾛｯｸ規格	設置 C種(180/210×300×600)				
	3)基礎砕石の有無 4)均し基礎ｺﾝｸﾘｰﾄの有無	有り 無し				
	5)養生工の有無 6)長期割引単価区分	-				
	7)基礎砕石規格	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40				
	単　　価		m			
	＊＊＊　S単－ 50号　＊＊＊					
	SP 歩車道境界ブロック		m		1.000 m	歩A 当たり算出
	SP 歩車道境界ブロック 設置,各種(600以下､50以上100kg未満),有り,無し,-,なし,再生ｸﾗｯｼ			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:１０% 基本給時間:8.0	
	ｬﾗﾝ RC-40			超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:4週8休以上	
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)作業区分 2)ﾌﾞﾛｯｸ規格	設置 各種(600以下､50以上100kg未満)				
	3)基礎砕石の有無 4)均し基礎ｺﾝｸﾘｰﾄの有無	有り 無し				
	5)養生工の有無 6)長期割引単価区分	-				
	7)基礎砕石規格	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40				

事業名	土地改良事業
工事名	大山広域農道歩道設置工事

コード	名　称	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	単　　価		m			
	＊＊＊　S単－ 51号　＊＊＊					
	SP 地先境界ブロック		m		1.000 m	歩A 当たり算出
	SP 地先境界ブロック 設置,C種(150×150×600),有り,無し,-,なし,再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:１０% 基本給時間:8.0	
				超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:4週8休以上	
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)作業区分 2)ﾌﾞﾛｯｸ規格	設置 C種(150×150×600)				
	3)基礎砕石の有無 4)均し基礎ｺﾝｸﾘｰﾄの有無	有り 無し				
	5)養生工の有無 6)長期割引単価区分	-				
	7)基礎砕石規格	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40				
	単　　価		m			

事業名	土地改良事業
工事名	大山広域農道歩道設置工事

コード	名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	＊＊＊　T単－ 1号　＊＊＊					
	埋戻し		m3		100.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 積込(ルーズ) 土砂,小規模(標準)	100.000	m3			S単　20号
	人力土工(盛土・埋戻) 砂・砂質土,埋戻,まき出し,振動ｺﾝﾊﾟｸﾀ(Ｉ)	100.000	m3			S単　1号
	合　　計					算出数量 100.000 m3
	単　　価		m3			
	＊＊＊　T単－ 2号　＊＊＊					
	路床盛土		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	施工幅員2.5m未満					
	振動ﾛｰﾗ[ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ式] 質量0.8～1.1ｔ	0.033	日			S単　2号
	普通作業員	0.240	人			S単　3号
	特殊作業員	0.023	人			S単　4号
	軽油 ＪＩＳ１．２号　小型ローリー	0.130	L			
	合　　計					算出数量 1.000 m3
	単　　価		m3			
	＊＊＊　T単－ 3号　＊＊＊					
	路体盛土		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	施工幅員2.5m未満					
	振動ﾛｰﾗ[ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ式] 質量0.8～1.1ｔ	0.028	日			S単　2号
	普通作業員	0.240	人			S単　5号
	特殊作業員	0.020	人			S単　4号
	軽油 ＪＩＳ１．２号　小型ローリー	0.111	L			
	合　　計					算出数量 1.000 m3
	単　　価		m3			
	＊＊＊　T単－ 4号　＊＊＊					
	路体外盛土		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	施工幅員2.5m未満					
	振動ﾛｰﾗ[ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ式] 質量0.8～1.1ｔ	0.033	日			S単　2号
	普通作業員	0.240	人			S単　3号
	特殊作業員	0.023	人			S単　4号
	軽油 ＪＩＳ１．２号　小型ローリー	0.130	L			
	合　　計					算出数量 1.000 m3
	単　　価		m3			
	＊＊＊　T単－ 5号　＊＊＊					
	重力式擁壁		m		10.000 m	歩A 当たり算出
	SP コンクリート 小型構造物,ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設,計上する,-,一般養生,-,-,-,なし,18-8-	6.435	m3			S単　34号
	40(高炉B) W/C65%					

事業名	土地改良事業
工事名	大山広域農道歩道設置工事

コード	名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	SP 型枠 一般型枠,小型構造物	19.989	㎡			S単　40号
	SP コンクリート 小型構造物,ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設,計上する,-,一般養生,-,-,-,なし,18-8-40(高炉B) W/C65%	1.230	m3			S単　34号
	SP 基面整正 基面整正	12.300	㎡			S単　23号
	合　　計					算出数量 10.000 m
	単　　価		m			
	＊＊＊　T単－ 6号　＊＊＊					
	プレキャストL型擁壁		m		10.000 m	歩A 当たり算出
	H=1900					
	プレキャストL型擁壁 H=1900 粘性土用	5.000	個			
	SP プレキャスト擁壁設置 1.0mを超え2.0m以下,有り,有り,なし	10.000	m			S単　25号
	SP 裏込砕石 計上する,なし,再生クラッシャラン RC-40 40～0mm	3.000	m3			S単　33号
	合　　計					算出数量 10.000 m
	単　　価		m			
	＊＊＊　T単－ 7号　＊＊＊					
	プレキャストL型擁壁		m		10.000 m	歩A 当たり算出
	H=2000					
	プレキャストL型擁壁 H=2000 粘性土用	5.000	個			
	SP プレキャスト擁壁設置 1.0mを超え2.0m以下,有り,有り,なし	10.000	m			S単　25号
	SP 裏込砕石 計上する,なし,再生クラッシャラン RC-40 40～0mm	3.300	m3			S単　33号
	合　　計					算出数量 10.000 m
	単　　価		m			
	＊＊＊　T単－ 8号　＊＊＊					
	プレキャストL型擁壁		m		10.000 m	歩A 当たり算出
	H=2100					
	プレキャストL型擁壁 H=2100　粘性土用	5.000	個			
	SP プレキャスト擁壁設置 2.0mを超え3.5m以下,有り,有り,なし	10.000	m			S単　26号
	SP 裏込砕石 計上する,なし,再生クラッシャラン RC-40 40～0mm	3.300	m3			S単　33号
	合　　計					算出数量 10.000 m
	単　　価		m			
	＊＊＊　T単－ 9号　＊＊＊					
	プレキャストカルバート		m		10.000 m	歩A 当たり算出
	B2000×H1500					
	SP ボックスカルバート機械据付 据付,2.0m/個,1.25＜B≦2.5　1.25＜H≦2.5,均しｺﾝｸﾘｰﾄ,無し,なし	10.000	m			S単　42号
	プレキャストボックスカルバート T-25 B2000×H1500 L=2000	5.000	個			
	合　　計					算出数量 10.000 m
	単　　価		m			
	＊＊＊　T単－ 10号　＊＊＊					

事業名	土地改良事業
工事名	大山広域農道歩道設置工事

コード	名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	側溝		m		10.000 m	歩A 当たり算出
	B300×H300 標準部用					
	【排水構造物工】 U型側溝,昼間施工,L=2000,1000kg/個以下,なし,-,-,基礎砕石の施工有り,再利	10.000	m			S単　12号
	用撤去を行なわない					
	U型側溝 B300×H300　固定式側溝　縦断用	5.000	個			
	再生クラッシャラン RC-40 40～0mm	0.600	m3			
	合　　計					算出数量 10.000 m
	単　　価		m			
	＊＊＊　T単－ 11号　＊＊＊					
	側溝蓋		m		10.000 m	歩A 当たり算出
	縁石一体蓋					
	側溝蓋 縁石一体用　B300　L=2000	4.000	個			
	側溝蓋 管理孔用　B300 L=2000	1.000	個			
	SP 歩車道境界ブロック 再利用設置,各種(1000～2000mm､150～550kg未),無し,無し,-,なし	10.000	m			S単　48号
	合　　計					算出数量 10.000 m
	単　　価		m			
	＊＊＊　T単－ 12号　＊＊＊					
	側溝蓋		m		10.000 m	歩A 当たり算出
	乗入部用蓋					
	側溝蓋 乗入部用　B300 L=2000	5.000	個			
	SP 歩車道境界ブロック 再利用設置,各種(1000～2000mm､150～550kg未),無し,無し,-,なし	10.000	m			S単　48号
	合　　計					算出数量 10.000 m
	単　　価		m			
	＊＊＊　T単－ 13号　＊＊＊					
	側溝蓋		m		10.000 m	歩A 当たり算出
	フラット蓋					
	側溝蓋 フラットタイプ　B300　L=2000	4.000	個			
	側溝蓋 管理孔用　B300 L=2000	1.000	個			
	SP 歩車道境界ブロック 再利用設置,各種(1000～2000mm､150～550kg未),無し,無し,-,なし	10.000	m			S単　48号
	合　　計					算出数量 10.000 m
	単　　価		m			
	＊＊＊　T単－ 14号　＊＊＊					
	継ぎ手		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
	SP コンクリート 無筋･鉄筋構造物,人力打設,計上する,-,一般養生,-,無し,-,24-8-40(高炉B) W	1.137	m3			S単　35号
	/C60%					
	SP 型枠 一般型枠,小型構造物	7.533	㎡			S単　40号
	異形棒鋼 SD345　　D13	0.025	ton			
	差筋 D13	61.000	本			

事業名	土地改良事業
工事名	大山広域農道歩道設置工事

コード	名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	合　　計					算出数量 1.000 箇所
	単　　価		箇所			
	＊＊＊　T単－ 15号　＊＊＊					
	底張		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
	SP コンクリート 無筋・鉄筋構造物,人力打設,計上する,-,一般養生,-,無し,-,18-8-40(高炉B) W/C65%	0.460	m3			S単　36号
	SP コンクリート 小型構造物,人力打設,計上する,-,一般養生,-,無し,-,18-8-40(高炉B) W/C65%	0.920	m3			S単　37号
	合　　計					算出数量 1.000 箇所
	単　　価		箇所			
	＊＊＊　T単－ 16号　＊＊＊					
	歩車道境界ブロック		m		10.000 m	歩A 当たり算出
	乗入部　一体型　カーブ用					
	SP 歩車道境界ブロック 設置,各種(600以下､50以上100kg未満),有り,無し,-,なし,再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40	10.000	m			S単　50号
	歩車道境界ブロック 乗入部　一体型　カーブ用　L=500	20.000	個			
	合　　計					算出数量 10.000 m
	単　　価		m			
	＊＊＊　T単－ 17号　＊＊＊					
	張りコンクリート		㎡		10.000 ㎡	歩A 当たり算出
	SP コンクリート 小型構造物,人力打設,計上する,-,一般養生,-,無し,-,24-8-25(20)(高炉B) W/C60%	0.700	m3			S単　39号
	SP 目地板 30m2未満,計上する,目地板(瀝青質板) t=10mm	0.070	㎡			S単　41号
	合　　計					算出数量 10.000 ㎡
	単　　価		㎡			
	＊＊＊　T単－ 18号　＊＊＊					
	歩車道境界ブロック		m		10.000 m	歩A 当たり算出
	BSC3					
	SP 歩車道境界ブロック 設置,C種(180/210×300×600),有り,無し,-,なし,再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40	10.000	m			S単　49号
	SP コンクリート 小型構造物,ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設,計上する,-,一般養生,-,-,-,なし,18-8-25(20)(高炉B) W/C65%	0.765	m3			S単　38号
	合　　計					算出数量 10.000 m
	単　　価		m			

数　　量　　表

工事区分	工　種	種　別	細　別	規　格	単位	数　量	摘　要
道路改良					式	1	
	道路土工				式	1	
		掘削工			式	1	
			土砂掘削	小規模	m３	36.0	
			耕土掘削	小規模	m３	7.1	
		盛土工			式	1	
			路床盛土	W＜2.5,購入土	m３	10.0	
			路体盛土	W＜2.5,流用土	m３	33.2	
			路体外盛土	W＜2.5,流用土	m３	18.3	
		法面整形工			式	1	
			法面整形（盛土部）	盛土部	m２	30.5	
		残土処理工			式	1	
			残土処理	砂質土	m３	30.3	
				耕土	m３	7.1	
	法面工				式	1	
		植生工			式	1	
			盛土法面	植生シート(盛土部)	m２	30.5	
	擁壁工				式	1	
		作業土工			式	1	
			床掘り	砂質土	m３	114.3	
			埋戻し	1.0≦W1＜4.0	m３	93.1	
			基面整正		m２	49.5	
		場所打擁壁工			式	1	
			重力式擁壁	H=0.90m,1：0.7	m	4.0	
		プレキャスト擁壁工	L型擁壁		式	1	
				H1900	m	6.0	

数　　量　　表

工事区分	工　種	種　別	細　別	規　格	単位	数　量	摘　要
				H2000	m	6.0	
				H2100	m	14.0	
	カルバート工				式	1	
		作業土工			式	1	
			基面整正		m２	5.0	
		プレキャスト カルバート工			式	1	
			プレキャスト ボックス	B2000×H1500	m	2	
			継ぎ手工		箇所	1	
			底張工	平均W=2.3m	箇所	1	
	排水構造物工				式	1	
		作業土工			式	1	
			床掘り	砂質土	m３	54.8	
			埋戻し	W＜1.0	m３	12.0	
			基面整正		m２	60.4	
		側溝工			式	1	
			路肩側溝	B300×H300,標準部用	m	74.2	
				B300×H300,乗入部用	m	14.2	
				B300×H300,フラット部用	m	12.4	
	舗装工				式	1	
		アスファルト 舗装工					
			（車道） 下層路盤	再生クラッシャーラン RC-30,t=11cm	m２	54.8	
			（車道） 上層路盤	粒度調整砕石 M-30 t=15cm	m２	54.8	
			（車道） 表層	再生密粒度アスコン t=5cm	m２	54.8	
			（路肩） 路盤	粒度調整砕石 M-30 t=15cm	m２	3.7	
			（路肩） 表層	再生密粒度アスコン t=5cm	m２	4.0	
			（歩道） 路盤	再生クラッシャーラン RC-30 t=10cm	m２	219.6	

数　　量　　表

工事区分	工　種	種　別	細　別	規　格	単位	数　量	摘　要
			(歩道) 表層	再生密粒度アスコン t=3cm	m２	219.6	
	縁石工				式	1	
		作業土工			式	1	
			床掘り	砂質土	m３	5.4	
			埋戻し	W<1.0	m３	4.5	
			基面整正		m２	14.6	
		縁石工			式	1	
			歩車道境界ブロック	BSC3	m	4.1	
				乗入部用	m	3.9	
			地先境界ブロック	BB3	m	44.8	
	防護柵工				式	1	
		防止柵工			式	1	
			転落防止柵	コンクリート用 GP　H=1100	m	39.0	
	区画線工				式	1	
		区画線工			式	1	
			ペイント式区画線	実線,白色,W=15cm	m	104.8	
	道路付属施設工				式	1	
		道路付属物工			式	1	
			張コンクリート	t=7cm	m２	6.3	
	構造物撤去工				式	1	
		構造物取壊し工			式	1	
			コンクリート切断	t=30cm	m	0.2	
			コンクリート 構造物取壊し	鉄筋	m３	3.3	
				無筋	m３	0.3	
			舗装版切断	アスファルト t=5cm	m	111.9	
			舗装版取壊し	アスファルト t=5cm	m２	75.6	

数　　量　　表

工事区分	工　種	種　別	細　別	規　格	単位	数　量	摘　要
				アスファルト t=3cm	m２	11.5	
		運搬処理工			式	1	
			殻運搬処理	コンクリート殻 鉄筋	m３	3.3	8.3t
				コンクリート殻 無筋	m３	0.3	0.8t
				アスファルト殻	m３	4.1	9.6t
	仮設工				式	1	
		仮水路工			式	1	
			仮設管	高密度ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管(ｼﾝｸﾞﾙ) φ300	m	15.0	
			土のう		袋	12	
		水替工			式	1	
			ポンプ排水	作業時排水 Q=150m3/h	日	1	
	準備工	祠移設			式	1	

道 路 土 工 数 量 集 計 表

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
掘削工				
土砂掘削	小規模	ｍ３	36.0	
耕土掘削	小規模	ｍ３	7.1	
盛土工				
路床盛土	W＜2.5,購入土	ｍ３	10.0	
路体盛土	W＜2.5,流用土	ｍ３	33.2	
路体外盛土	W＜2.5,流用土	ｍ３	18.3	
法面整形工				
法面整形（盛土部）	盛土部	ｍ２	30.5	
残土処理工				
残土処理	砂質土	ｍ３	30.3	
	耕土	ｍ３	7.1	

道　路　土　工　数　量　計　算　書

測　点	単距離	修　正 距　離	土砂掘削			修　正 距　離				摘　要
			Ａ	１／２	Ｖ					
NO.0+3.0	0.0	0.0	0.6	―	―					NO.0 使用
NO.1	17.0	17.0	0.1	0.35	6.0					
NO.2	20.0	20.0	0.1	0.10	2.0					
NO.3	20.0	20.0	0.5	0.30	6.0					
NO.4	20.0	20.0	0.5	0.50	10.0					
NO.5	20.0	20.0	0.7	0.60	12.0					
計					m3 36.0					

道　路　土　工　数　量　計　算　書

測　点	単距離	修　正 距　離	耕土掘削			修　正 距　離				摘　要
			Ａ	１／２	Ｖ					
NO.0+16.3	0.0	0.0	0.1	－	－					NO.1 使用
NO.1	3.7	3.7	0.1	0.10	0.4					
NO.2	20.0	20.0	0.1	0.10	2.0					
NO.3	20.0	20.0	0.2	0.15	3.0					
NO.3+8.5	8.5	8.5	0.2	0.20	1.7					NO.3 使用
計					m3 7.1					

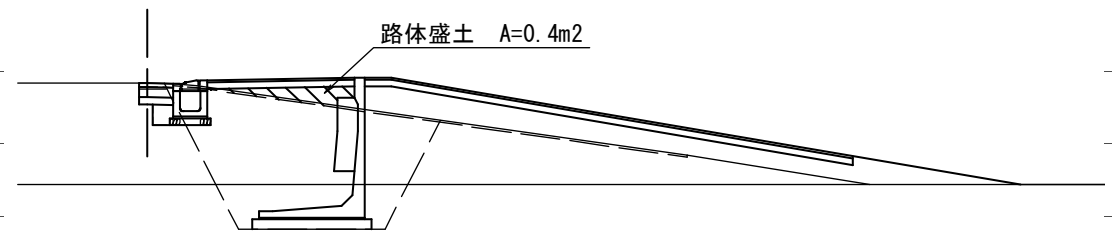
道　路　土　工　数　量　計　算　書

測　点	単距離	修　正 距　離	路床盛土（W＜2.5）			修　正 距　離				摘　要
			A	１／２	V					
NO.0+9.6	0.0	0.0	0.1	－	－					NO.1 使用
NO.1	10.4	10.4	0.1	0.10	1.0					
NO.2	20.0	20.0	0.1	0.10	2.0					
NO.3	20.0	20.0	0.1	0.10	2.0					
NO.4	20.0	20.0	0.1	0.10	2.0					
NO.5	20.0	20.0	0.1	0.10	2.0					
NO.5+10.3	10.3	10.4	0.1	0.10	1.0					NO.5 使用
計					m3 10.0					

道　路　土　工　数　量　計　算　書

測　点	単距離	修　正 距　離	路体盛土（W＜2.5） A	1／2	V	修　正 距　離				摘　要
NO.0+4.1	0.0	0.0	0.0	—	—					
NO.0+7.0	2.9	2.9	1.2	0.60	1.7					NO.1 使用
—〃—	0.0	0.0	0.4	—	—					A-A'断面 使用
NO.0+9.3	2.3	2.3	0.4	0.40	0.9					A-A'断面 使用
—〃—	0.0	0.0	1.2	—	—					NO.1 使用
NO.0+11.0	1.7	1.7	0.4	0.80	1.4					A-A'断面 使用
NO.0+14.2	3.2	3.2	0.4	0.40	1.3					A-A'断面 使用
NO.0+16.3	2.1	2.1	1.2	0.80	1.7					NO.1 使用
NO.1	3.7	3.7	1.2	1.20	4.4					
NO.2	20.0	20.0	0.5	0.85	17.0					
NO.2+3.7	3.7	3.7	0.5	0.50	1.9					NO.2 使用
NO.2+15.3	11.6	11.6	0.0	0.25	2.9					
計					m3 33.2					

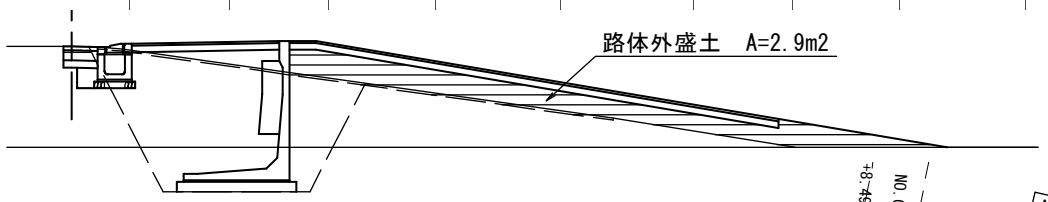
進入路①（NO.0+13付近）



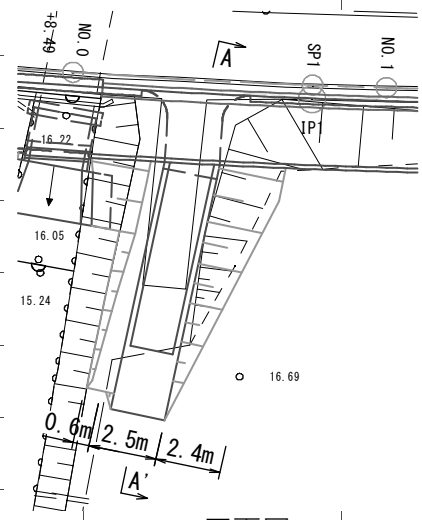
A-A'断面図

道　路　土　工　数　量　計　算　書

測　点	単距離	修　正 距　離	路体外盛土（W＜2.5） A	1／2	V	修　正 距　離				摘　要
NO.2+4.9	0.0	0.0	0.4	―	―					NO.3 使用
NO.3	15.1	15.1	0.4	0.40	6.0					
NO.3+0.6	0.6	0.6	0.4	0.40	0.2					NO.3 使用
小計					6.2					
NO.3+6.3	0.0	0.0	0.4	―	―					NO.3 使用
NO.3+8.5	2.2	2.2	0.0	0.20	0.4					
小計					0.4					
進入路①（NO.0+13付近）	0.0	0.0	0.0	―	―					
	0.6	0.6	2.9	1.45	0.9					A-A'断面 使用
	2.5	2.5	2.9	2.90	7.3					A-A'断面 使用
	2.4	2.4	0.0	1.45	3.5					
小計					11.7					
合計					m3 18.3					



A-A'断面図

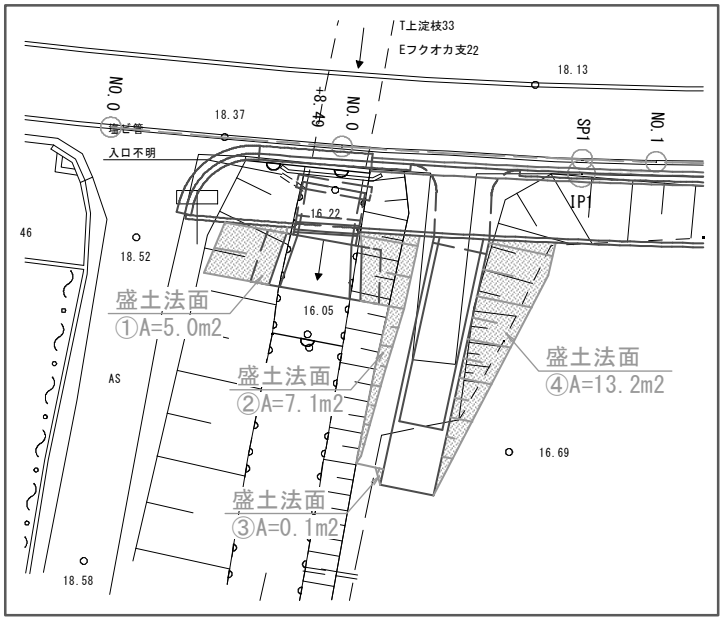


平面図

法　面　工　数　量　集　計　表

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
植生工				
盛土法面	植生シート(盛土部)	ｍ２	30.5	

法面工　数量根拠図



植生シート工	
盛土部	1:1.5
①	5.0
②	7.1
③	0.1
④	13.2
合計	25.4
斜率	1.202
面積	30.5

擁　壁　工　数　量　集　計　表

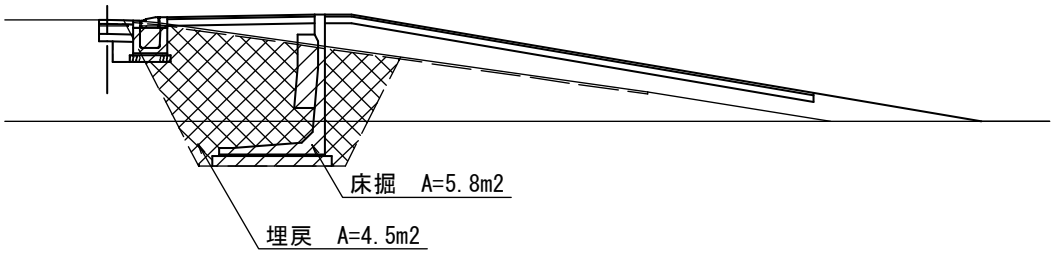
名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
作業土工				
床掘り	砂質土	ｍ３	114.3	
埋戻し	1.0≦W1＜4.0	ｍ３	93.1	
基面整正		ｍ２	49.5	
場所打擁壁工				
重力式擁壁	H=0.90m,1：0.7	ｍ	4.0	
プレキャスト擁壁工				
1号プレキャストL型擁壁	H2100	ｍ	4.0	
2号プレキャストL型擁壁	H1900	ｍ	6.0	
	H2000	ｍ	6.0	
	H2100	ｍ	10.0	

擁壁工作業土工集計表

名　　称	延　長	床　掘　り 砂質土 単位数量	数　量	埋　戻　し 1.0≦W1＜4.0 単位数量	数　量	基面整正 単位数量	数　量	摘　要
本線計算書より			114.3		93.1			
重力式擁壁 H=0.90m	m 4.0					1.23	4.9	
1号プレキャストL型擁壁 H2100	m 4.0					1.75	7.0	
2号プレキャストL型擁壁 H1600	m 6.0					1.65	9.9	
2号プレキャストL型擁壁 H1700	m 6.0					1.70	10.2	
2号プレキャストL型擁壁 H1900	m 10.0					1.75	17.5	
合計			m3 114.3		m3 93.1		m3 49.5	

擁　壁　工　数　量　計　算　書

測　点	単距離	修　正 距　離	床掘り			修　正 距　離	埋戻し(1.0≦W1＜4.0)			摘　要
			A	1／2	V		A	1／2	V	
NO.0+3.0	0.0	0.0	7.7	—	—	0.0	6.3	—	—	NO.0 使用
NO.0+7.0	4.0	4.0	2.9	5.30	21.2	4.0	2.4	4.35	17.4	NO.1 使用
小計	4.0	4.0			21.2	4.0			17.4	
NO.0+9.3	0.0	0.0	2.9	—	—	0.0	2.4	—	—	NO.1 使用
NO.0+11.0	1.7	1.7	5.8	4.35	7.4	1.7	4.5	3.45	5.9	A-A'断面 使用
NO.0+14.2	3.2	3.2	5.8	5.80	18.6	3.2	4.5	4.50	14.4	A-A'断面 使用
NO.0+16.3	2.1	2.1	2.9	4.35	9.1	2.1	2.4	3.45	7.2	NO.1 使用
NO.1+11.0	3.7	3.8	2.9	2.90	11.0	3.8	2.4	2.40	9.1	
NO.2	11.0	11.2	2.4	2.65	29.7	11.2	2.2	2.30	25.8	
小計	21.7	22.0			75.8	22.0			62.4	

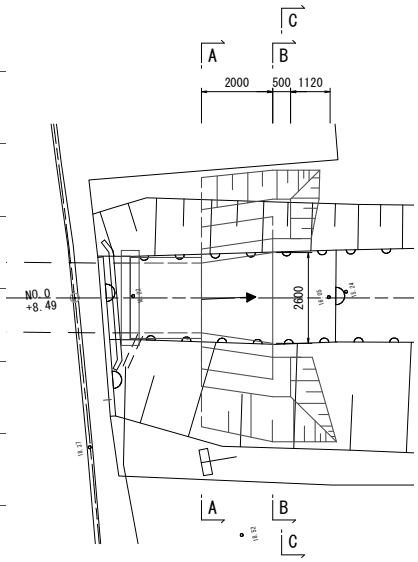


A-A'断面図

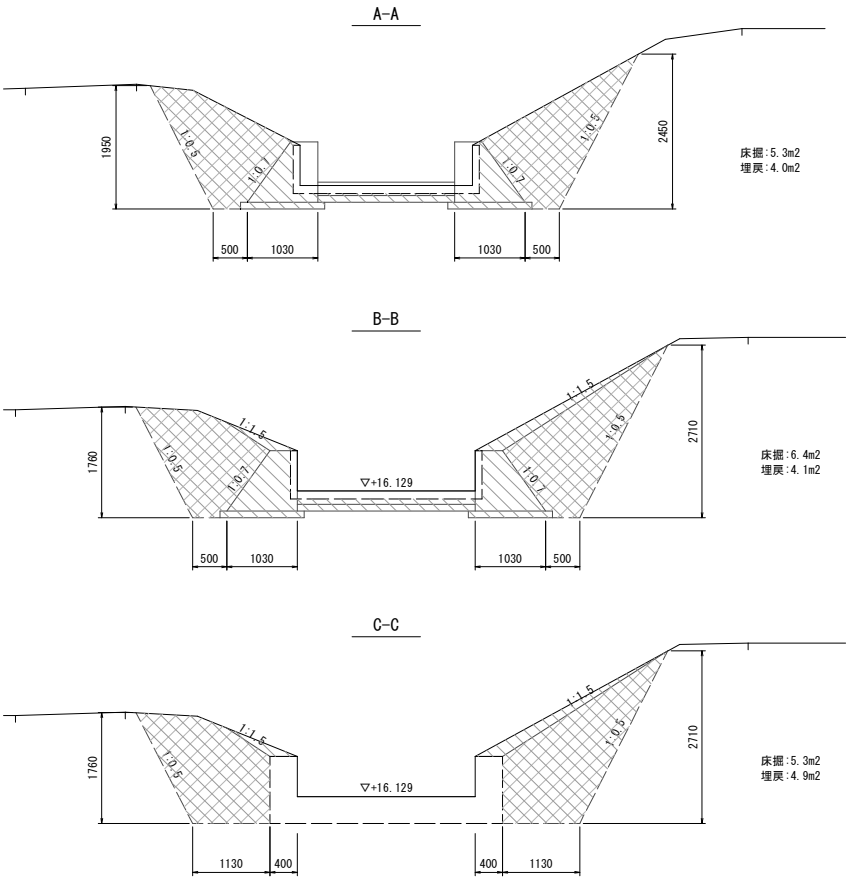
擁　壁　工　数　量　計　算　書

測　点	単距離	修　正 距　離	床掘り A	床掘り 1／2	床掘り V	修　正 距　離	埋戻し(1.0≦W1＜4.0) A	埋戻し(1.0≦W1＜4.0) 1／2	埋戻し(1.0≦W1＜4.0) V	摘　要
ボックス部 A-A	0.0	0.0	5.3	—	—	0.0	4.0	—	—	
B-B	2.0	2.0	6.4	5.85	11.7	2.0	4.1	4.05	8.1	
C-C	0.0	0.0	5.3	—	—	0.0	4.9	—	—	
C-C	0.5	0.5	5.3	5.30	2.7	0.5	4.9	4.90	2.5	
	1.1	1.1	0.0	2.65	2.9	1.1	0.0	2.45	2.7	
小計					17.3				13.3	
合計					m3 114.3				m3 93.1	

平面図



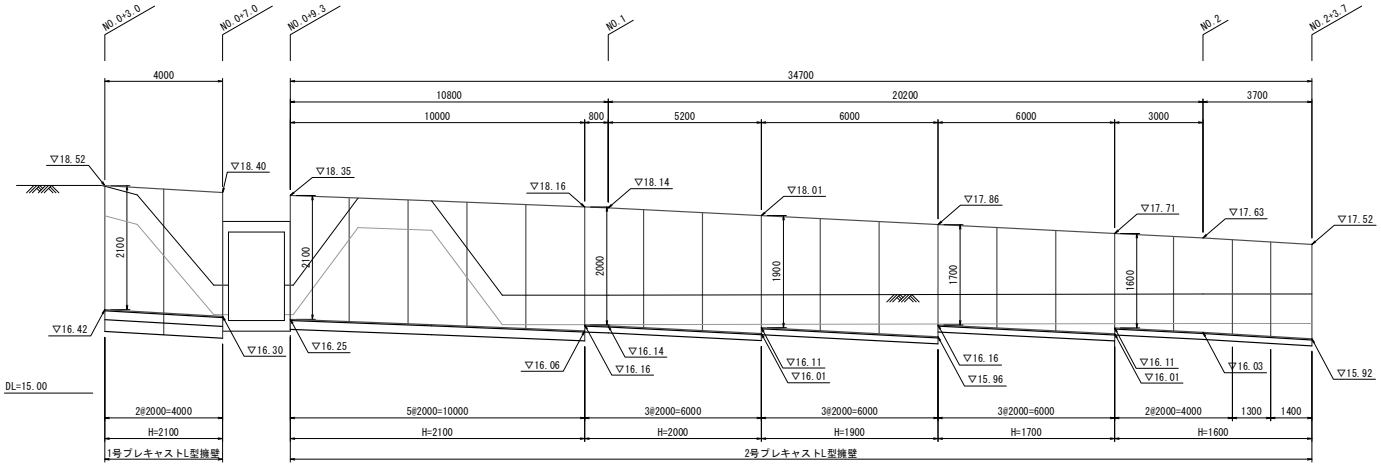
断面図



擁 壁 工 延 長 調 書

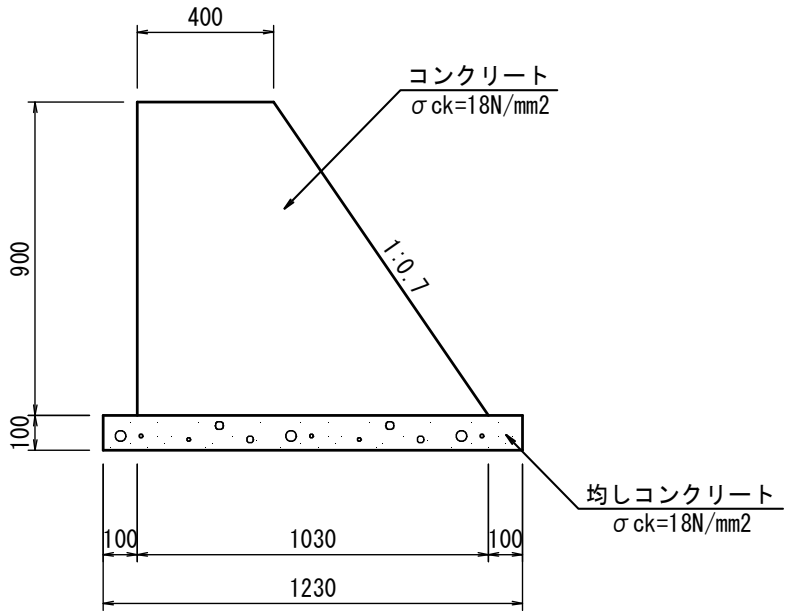
名　　称	起　点	終　点	延　長	摘　要
重力式擁壁 H=0.90m	NO.0+6.5付近		2.0 m	
	NO.0+9.5付近		2.0 m	
		計	4.0 m	
1号プレキャストL型擁壁 H2100	プレキャストL型擁壁展開図(1) 参照		4.0 m	
2号プレキャストL型擁壁 H1900	プレキャストL型擁壁展開図(1) 参照		6.0 m	
2号プレキャストL型擁壁 H2000	プレキャストL型擁壁展開図(1) 参照		6.0 m	
2号プレキャストL型擁壁 H2100	プレキャストL型擁壁展開図(1) 参照		10.0 m	

プレキャストL型擁壁展開図(1)



擁壁工材料計算書

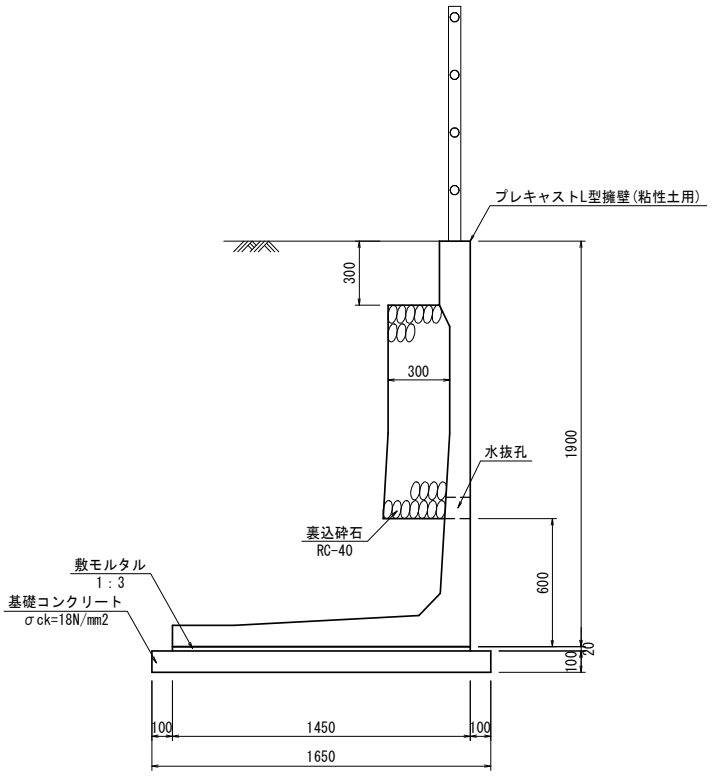
重力式擁壁



名　称	規　格	計　　算　　式	10m当り数量	摘　要
コンクリート	σck=18N/mm2	(0.40+1.03)/2×0.90×10.0	m3 6.435	
型枠		(0.90+0.90×1.221（斜率）)×10.0	m2 19.989	
均しコンクリート	σck=18N/mm2	1.23×0.10×10.0	m3 1.230	
基面整正		1.23×10.0	m2 12.30	

擁壁工材料計算書

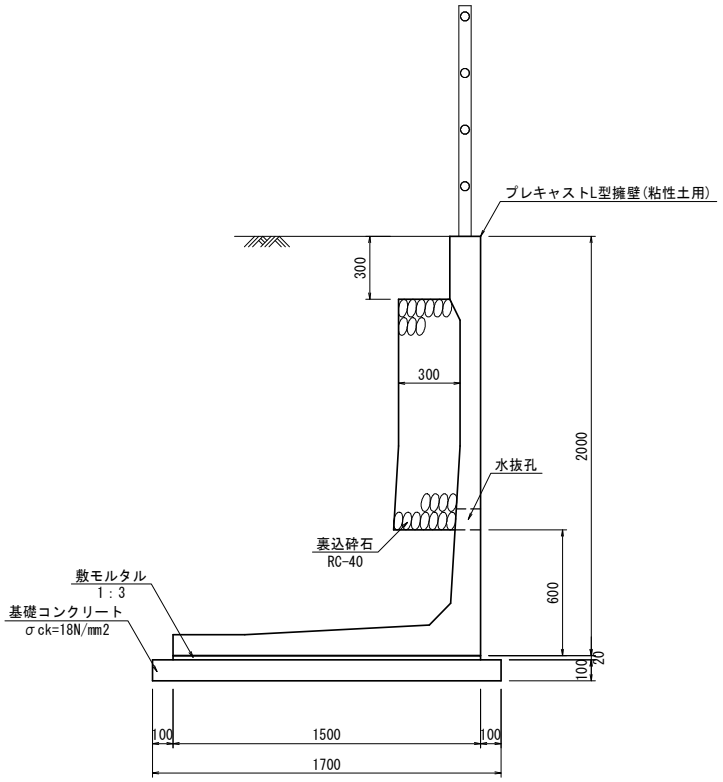
2号プレキャストL型擁壁（H=1900）



名　称	規　格	計　　算　　式	10m当り数量	摘　要
L型擁壁	H1900,L2000	10.0/2.0	個 5.000	
敷モルタル	1:3	1.45×0.02×10.0	m3 0.290	
基礎コンクリート	σck=18N/mm2	1.65×0.10×10.0	m3 1.650	
基礎型枠		0.10×2×10.0	m2 2.000	
裏込砕石	RC-40	(1.90-0.30-0.60)×0.30×10.0	m3 3.000	
基面整正		1.65×10.0	m2 16.50	

擁壁工材料計算書

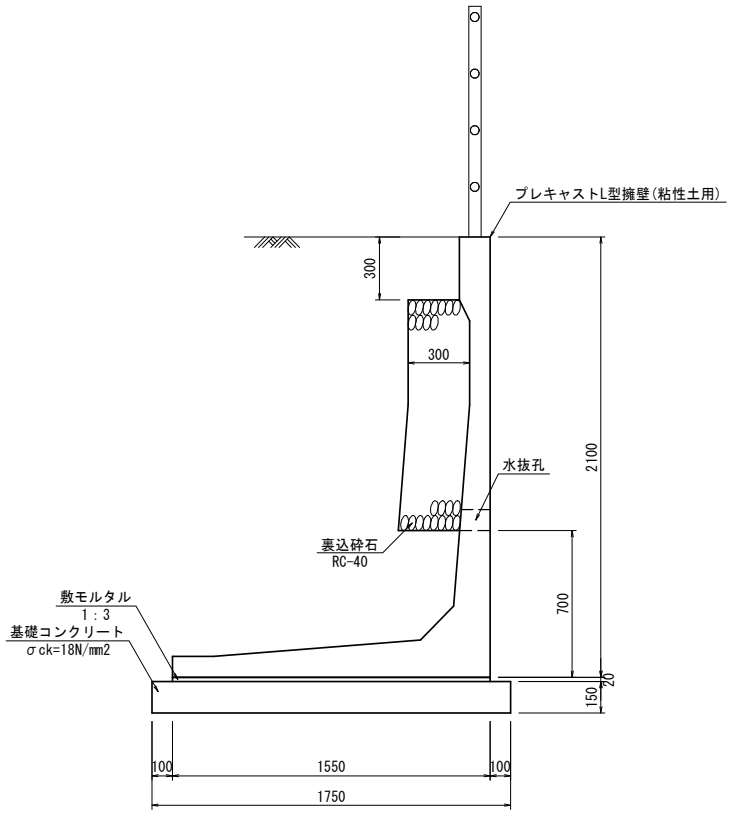
2号プレキャストL型擁壁（H=2000）



名　称	規　格	計　　算　　式	10m当り数量	摘　要
L型擁壁	H2000,L2000	10.0/2.0	個 5.000	
敷モルタル	1:3	1.50×0.02×10.0	m3 0.300	
基礎コンクリート	σck=18N/mm2	1.70×0.10×10.0	m3 1.700	
基礎型枠		0.10×2×10.0	m2 2.000	
裏込砕石	RC-40	(2.00-0.30-0.60)×0.30×10.0	m3 3.300	
基面整正		1.70×10.0	m2 17.00	

擁壁工材料計算書

1号・2号プレキャストL型擁壁（H=2100）



名　称	規　格	計　　算　　式	10m当り数量	摘　要
L型擁壁	H2100,L2000	10.0/2.0	個 5.000	
敷モルタル	1:3	1.55×0.02×10.0	m3 0.310	
基礎コンクリート	σck=18N/mm2	1.75×0.15×10.0	m3 2.625	
基礎型枠		0.15×2×10.0	m2 3.000	
裏込砕石	RC-40	(2.10-0.30-0.70)×0.30×10.0	m3 3.300	
基面整正		1.75×10.0	m2 17.50	

カ　ル　バ　ー　ト　工　数　量　集　計　表

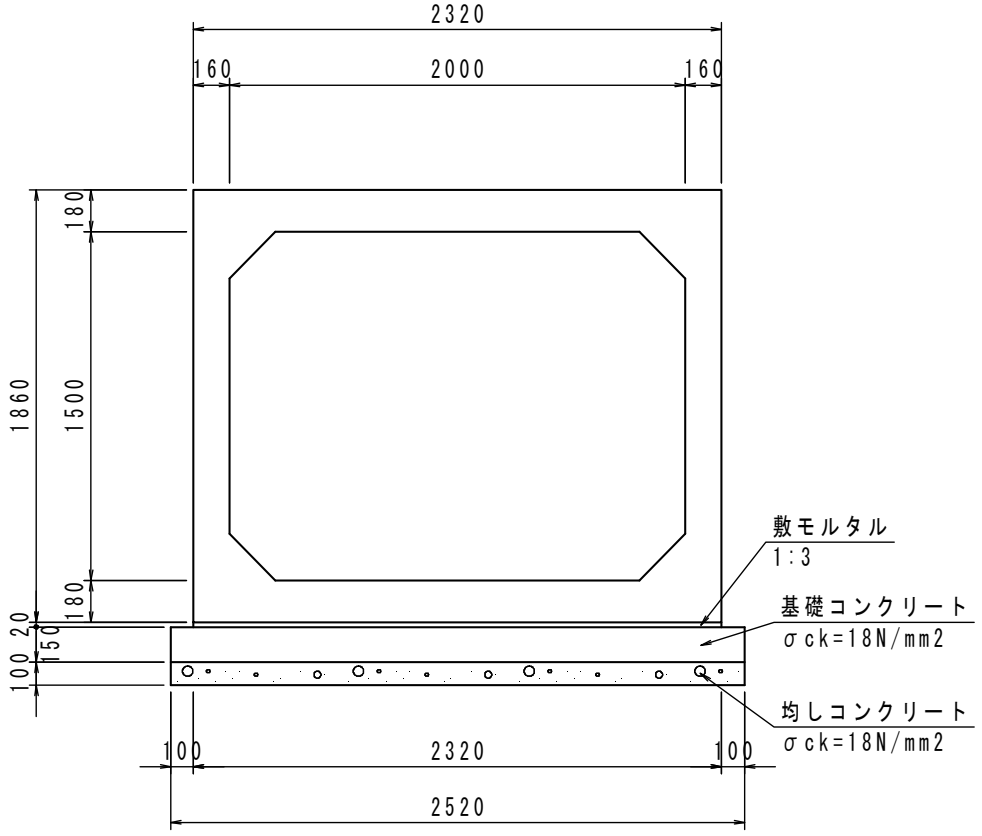
名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
作業土工				
基面整正		ｍ２	5.0	
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｶﾙﾊﾞｰﾄ工				
プレキャストボックス	B2000×H1500	ｍ	2.0	
継ぎ手工		箇所	1.0	
底張工	平均W=2.3m	箇所	1.0	L=2.0m

カルバート工延長調書

名　　称	起　点	終　点	延　長	摘　要
プレキャストボックス 2000×1500	NO.0+8.5付近		2 m	
継ぎ手工	NO.0+8.5付近		1 箇所	
底張工 平均W=2.3m	NO.0+8.5付近		1 箇所	L=2.0m

カルバート工材料計算書

プレキャスボックスカルバート(B2000×H1500)

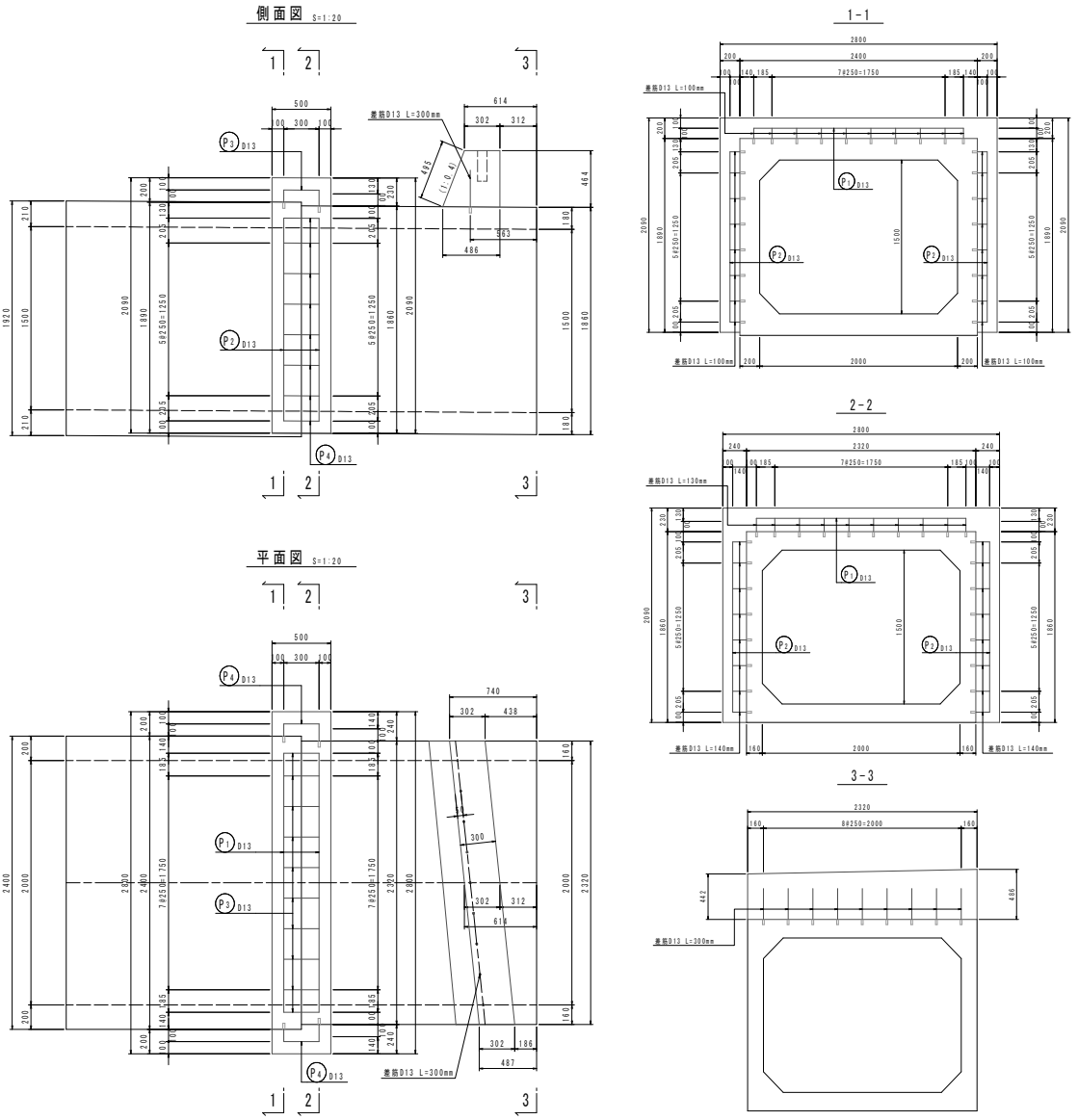


延長L=2.0m

名　称	規　格	計　算　式	1箇所当り 数　量	摘　要
ﾎﾞｯｸｽｶﾙﾊﾞｰﾄ	B2000×H1500	2.00	m 2.000	
敷モルタル	1:3	2.32×0.02×2.00	m3 0.093	
基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=18N/mm2	2.52×0.15×2.00	m3 0.756	
型枠		0.15×(2.00×2+2.52)	m2 0.978	
均しコンクリート	σck=18N/mm2	2.52×0.10×2.00	m3 0.504	
型枠		0.10×(2.00×2+2.52)	m2 0.652	
基面整正		2.52×2.00	m2 5.04	

カルバート工材料計算書

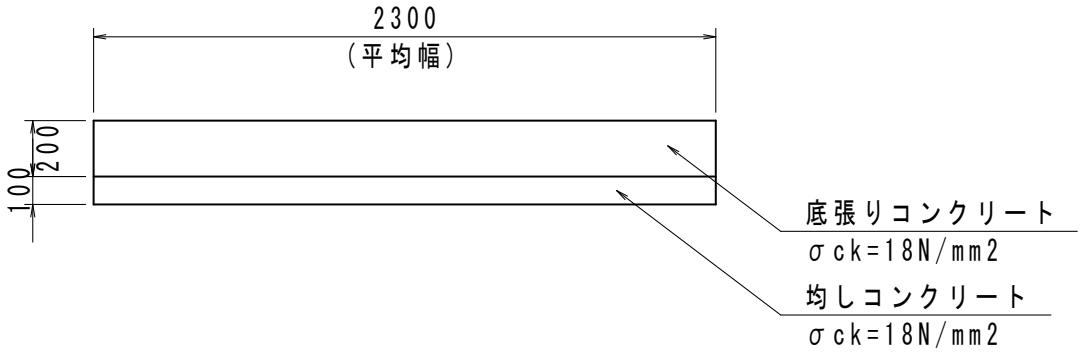
継ぎ手工



名　称	規　格	計　　算　　式	1箇所当り 数　量	摘　要
コンクリート	σck=24N/mm2	(2.80×2.09−2.40×1.89)×0.25 +(2.80×2.09−2.32×1.86)×0.25 +(0.302+0.486)/2×0.464×2.32	m3 1.137	
型　枠		(2.80×2.09−2.40×1.89)+(2.80×2.09 −2.32×1.86)+2.09×0.50×2 +(0.464+0.495)×2.32 +(0.302+0.486)/2×0.464×2	m2 7.533	
鉄筋	SD345		kg 25.000	
差筋	D13,L=100mm	10+8×2	本 26.0	
差筋	D13,L=130mm	10	本 10.0	
差筋	D13,L=140mm	8×2	本 16.0	
差筋	D13,L=300mm	9	本 9.0	

カルバート工材料計算書

底張工



底張工 平均幅計算

	距離	底張工		
		w	1/2	A
	0.00	2.00	―	―
	2.00	2.60	2.30	4.60
計	2.00			4.60
平均幅 W=4.60/2.00=2.30m				

延長L=2.0m

名　称	規　格	計　算　式	1箇所当り 数　量	摘　要
コンクリート	σck=18N/mm2	2.30×0.20×2.0	m3 0.920	
均しコンクリート	σck=18N/mm2	2.30×0.10×2.0	m3 0.460	

排 水 構 造 物 工 数 量 集 計 表

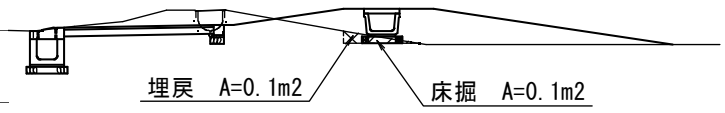
名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
作業土工				
床掘り	砂質土	ｍ３	54.8	
埋戻し	W＜1.0	ｍ３	12.0	
基面整正		ｍ２	60.4	
側溝工				
路肩側溝	B300×H300,標準部用	ｍ	74.2	
	B300×H300,乗入部用	ｍ	14.2	
	B300×H300,フラット部用	ｍ	12.4	

排水構造物工作業土工集計表

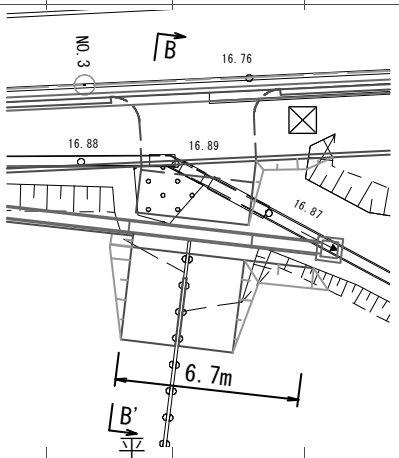
名　　称	延　長	床　掘　り 砂質土 単位数量	数　量	埋　戻　し W<1.0 単位数量	数　量	基面整正 単位数量	数　量	摘　要
本線計算書より			54.8		12.0			
路肩側溝 B300×H300,標準部用	m 74.2					0.60	44.5	
路肩側溝 B300×H300,乗入部用	m 14.2					0.60	8.5	
路肩側溝 B300×H300,フラット部用	m 12.4					0.60	7.4	
合計			m3 54.8		m3 12.0		m3 60.4	

排 水 構 造 物 工 数 量 計 算 書

測　点	単距離	修　正 距　離	床掘り			修　正 距　離	埋戻し(W<1.0)			摘　要
			A	1／2	V		A	1／2	V	
NO.0+9.6	0.0	0.0	0.3	—	—					NO.1 使用
NO.1	10.4	10.4	0.3	0.30	3.1					
NO.2	20.0	20.0	0.5	0.40	8.0					
NO.2+3.7	3.7	3.7	0.5	0.50	1.9					NO.2 使用
—〃—	0.0	0.0	0.6	—	—	0.0	0.2	—	—	NO.3 使用
NO.3	16.3	16.3	0.6	0.60	9.8	16.3	0.2	0.20	3.3	
NO.4	20.0	20.0	0.6	0.60	12.0	20.0	0.2	0.20	4.0	
NO.5	20.0	20.0	0.6	0.60	12.0	20.0	0.1	0.15	3.0	
—〃—	0.0	0.0	0.7	—	—	0.0	0.1	—	—	
NO.5+10.1	10.1	10.4	0.7	0.70	7.3	10.4	0.1	0.10	1.0	NO.5 使用
小計	100.5	100.8			54.1				11.3	
B-B'	0.0	0.0	0.1	—	—	0.0	0.1	—	—	
		6.7	0.1	0.10	0.7	6.7	0.1	0.10	0.7	B-B'断面 使用
小計					0.7				0.7	
合計					m3 54.8				m3 12.0	



B-B'断面図



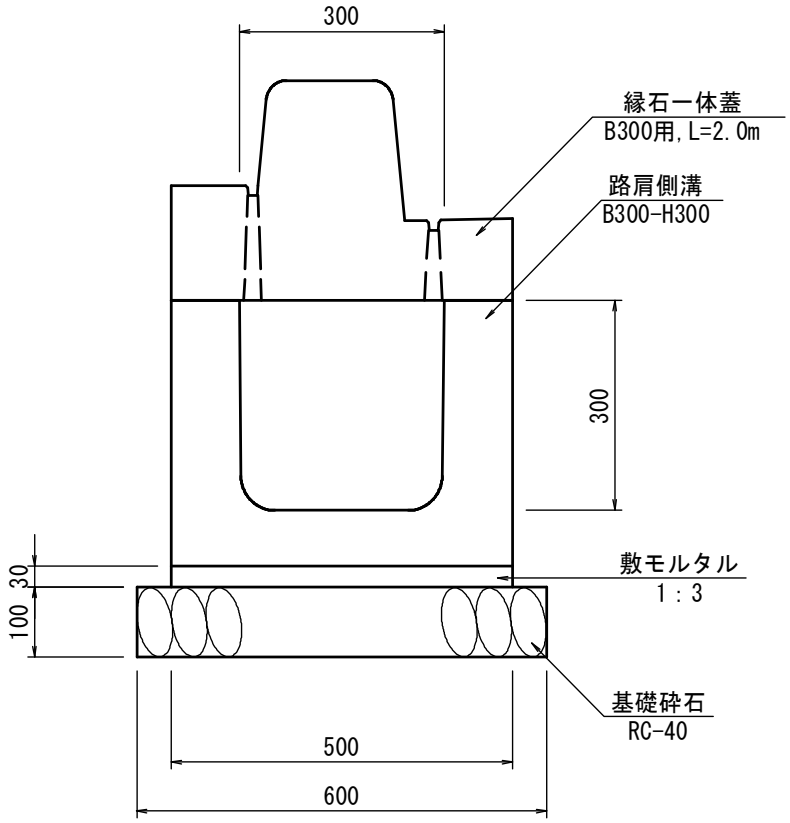
平面図

排 水 構 造 物 工 延 長 調 書

測点	ベンチフリューム FB-400	路肩側溝 標準部用	路肩側溝 乗入部用	路肩側溝 フラット部用	
NO. 0					
		1.4	4.0		
NO. 1		5.0			
NO. 2		20.0			
NO. 3		20.0			
		0.9	6.2		
NO. 4		8.9	4.0		
		18.0			
NO. 5				2.0	
				10.4	
計	m 0.0	m 74.2	m 14.2	m 12.4	

排水構造物工材料計算書

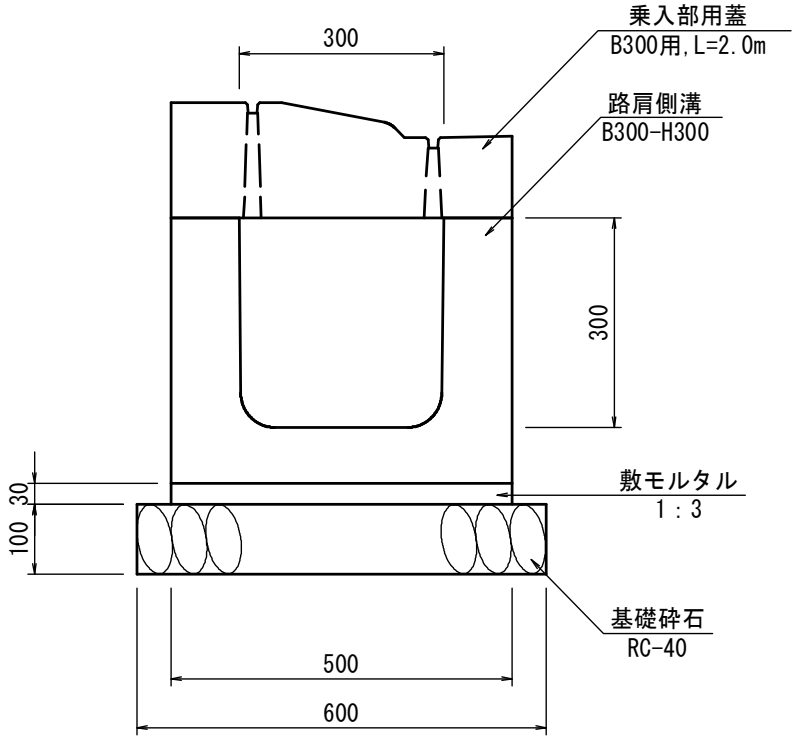
路肩側溝（B300×H300,標準部用）



名　称	規　格	計　算　式	10m当り数量	摘　要
路肩側溝	B300×H300 L=2.0m	10.0/2.0	個 5.0	
敷モルタル	1:3	0.50×0.03×10.0	m3 0.150	
基礎砕石	RC-40 t=10cm	0.60×10.0	m2 6.000	
縁石一体蓋	B300用 L=2.0m	10.0/2.0-1.0	個 4.0	
管理孔用蓋	B300用 L=2.0m		個 1.0	
基面整正		0.60×10.0	m2 6.00	

排水構造物工材料計算書

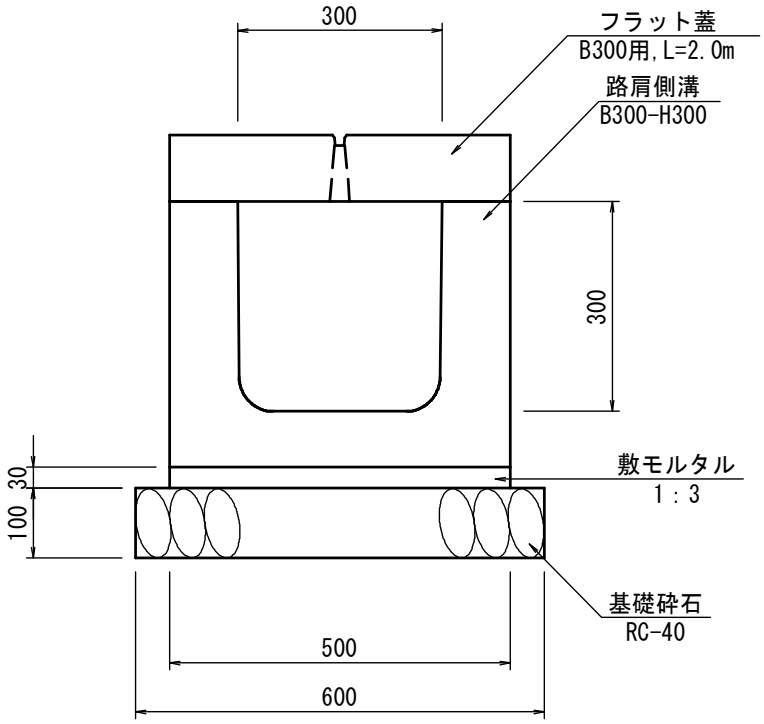
路肩側溝（B300×H300,乗入部用）



名　称	規　格	計　算　式	10m当り数量	摘　要
路肩側溝	B300×H300 L=2.0m	10.0/2.0	個 5.0	
敷モルタル	1:3	0.50×0.03×10.0	m3 0.150	
基礎砕石	RC-40 t=10cm	0.60×10.0	m2 6.000	
乗入部用蓋	B300用 L=2.0m	10.0/2.0	個 5.0	
基面整正		0.60×10.0	m2 6.00	

排水構造物工材料計算書

路肩側溝（B300×H300,フラット部用）



名　称	規　格	計　　算　　式	10m当り数量	摘　要
路肩側溝	B300×H300 L=2.0m	10.0/2.0	個 5.0	
敷モルタル	1:3	0.50×0.03×10.0	m3 0.150	
基礎砕石	RC-40 t=10cm	0.60×10.0	m2 6.000	
フラット蓋	B300用 L=2.0m	10.0/2.0-1.0	個 4.0	
管理孔用蓋	B300用 L=2.0m		個 1.0	
基面整正		0.60×10.0	m2 6.00	

舗　装　工　数　量　集　計　表

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
アスファルト舗装工				
（車道舗装）				
下層路盤	再生クラッシャーラン RC-30,t=11cm	ｍ２	54.8	
上層路盤	粒度調整砕石 M-30 t=15cm	ｍ２	54.8	
表層	再生密粒度アスコン t=5cm	ｍ２	54.8	
（路肩舗装）				
路盤	粒度調整砕石 M-30 t=15cm	ｍ２	3.7	
表層	再生密粒度アスコン t=5cm	ｍ２	4.0	
（歩道舗装）				
路盤	再生クラッシャーラン RC-30 t=10cm	ｍ２	219.6	
表層	再生密粒度アスコン t=3cm	ｍ２	219.6	

舗　装　工　数　量　計　算　書

測　点	単距離	修　正 距　離	表層			修　正 距　離	上層路盤			摘　要
			W	１／２	A		W	１／２	A	
NO.0+5.5	0.0	0.0	0.50	―	―	0.0	0.50	―	―	NO.0 使用
NO.0+9.6	4.1	4.1	0.50	0.500	2.1	4.1	0.50	0.500	2.1	NO.0 使用
―〃―	0.0	0.0	0.50	―	―	0.0	0.50	―	―	NO.1 使用
NO.1	10.4	10.4	0.50	0.500	5.2	10.4	0.50	0.500	5.2	
NO.2	20.0	20.0	0.50	0.500	10.0	20.0	0.50	0.500	10.0	
NO.3	20.0	20.0	0.50	0.500	10.0	20.0	0.50	0.500	10.0	
NO.4	20.0	20.0	0.50	0.500	10.0	20.0	0.50	0.500	10.0	
NO.5	20.0	20.0	0.50	0.500	10.0	20.0	0.50	0.500	10.0	
NO.5+10.3	10.3	10.4	0.50	0.500	5.2	10.4	0.50	0.500	5.2	NO.5 使用
小計					52.5				52.5	
別紙計算書より					2.3				2.3	
合計					m2 54.8				m2 54.8	

舗　装　工　数　量　計　算　書

測　点	単距離	修　正 距　離	下層路盤（幅）			修　正 距　離	下層路盤（面積）			摘　要
			W	１／２	A		A	１／２	V	
NO.0+5.5	0.0	0.0	0.50	—	—	0.0	0.045	—	—	NO.0 使用
NO.0+9.6	4.1	4.1	0.50	0.500	2.1	4.1	0.045	0.0450	0.18	NO.0 使用
—〃—	0.0	0.0	0.50	—	—	0.0	0.055	—	—	NO.1 使用
NO.1	10.4	10.4	0.50	0.500	5.2	10.4	0.055	0.0550	0.57	
NO.2	20.0	20.0	0.50	0.500	10.0	20.0	0.055	0.0550	1.10	
NO.3	20.0	20.0	0.50	0.500	10.0	20.0	0.055	0.0550	1.10	
NO.4	20.0	20.0	0.50	0.500	10.0	20.0	0.055	0.0550	1.10	
NO.5	20.0	20.0	0.50	0.500	10.0	20.0	0.055	0.0550	1.10	
NO.5+10.3	10.3	10.4	0.50	0.500	5.2	10.4	0.055	0.0550	0.57	NO.5 使用
小計					52.5				5.7	
別紙計算書より					2.3		2.3×0.04		0.09	
合計					m2 54.8				m3 5.81	

舗　装　工　数　量　計　算　書

測　点	単距離	修　正 距　離	路肩表層			修　正 距　離	路肩路盤			摘　要
			W	１／２	A		W	１／２	A	
NO.5	0.0	0.0	0.41	－	－	0.0	0.38	－	－	
NO.5+9.7	9.7	9.8	0.41	0.410	4.0	9.8	0.38	0.380	3.7	NO.5 使用
計					m2 4.0				m2 3.7	

舗　装　工　数　量　計　算　書

測　点	単距離	修　正 距　離	歩道表層			修　正 距　離	歩道路盤			摘　要
			W	１／２	A		W	１／２	A	
NO.0+5.5	0.0	0.0	2.28	―	―	0.0	2.28	―	―	NO.0 使用
NO.0+9.6	4.1	4.1	2.28	2.280	9.3	4.1	2.28	2.280	9.3	NO.0 使用
―〃―	0.0	0.0	2.16	―	―	0.0	2.16	―	―	NO.1 使用
NO.1	10.4	10.4	2.16	2.160	22.5	10.4	2.16	2.160	22.5	
NO.2	20.0	20.0	2.16	2.160	43.2	20.0	2.16	2.160	43.2	
NO.3	20.0	20.0	2.16	2.160	43.2	20.0	2.16	2.160	43.2	
NO.4	20.0	20.0	2.16	2.160	43.2	20.0	2.16	2.160	43.2	
NO.5	20.0	20.0	2.16	2.160	43.2	20.0	2.16	2.160	43.2	
小計					204.6				204.6	
別紙計算書より					15.0				15.0	
合計					m2 219.6				m2 219.6	

縁　石　工　数　量　集　計　表

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
作業土工				
床掘り	砂質土	ｍ３	5.4	
埋戻し	W＜1.0	ｍ３	4.5	
基面整正		ｍ２	14.6	4.1×0.70+3.9×0.70 +44.8×0.20
縁石工				
歩車道境界ブロック	BSC3	ｍ	4.1	
	乗入部用	ｍ	3.9	
地先境界ブロック	BB3	ｍ	44.8	

縁　石　工　数　量　計　算　書

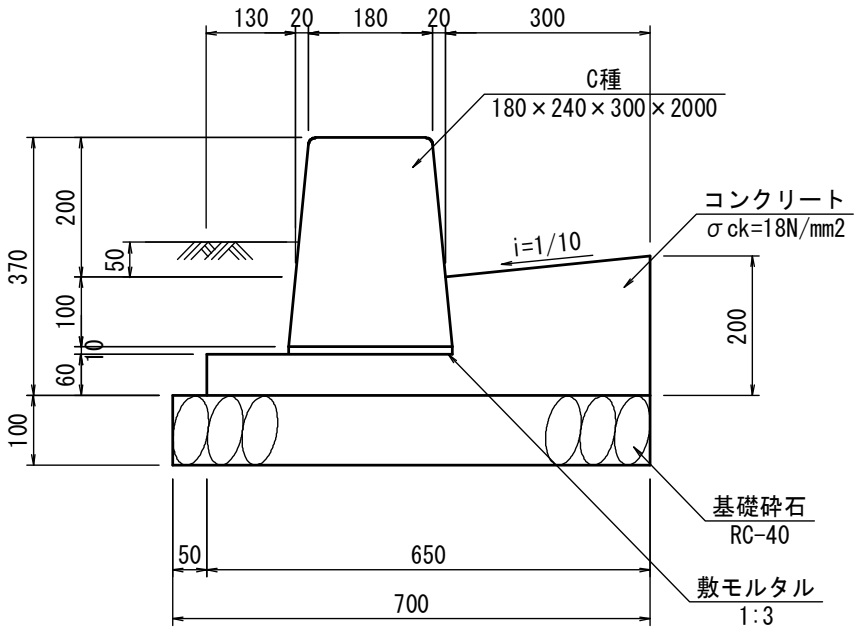
測　点	単距離	修　正 距　離	床掘り			修　正 距　離	埋戻し(W<1.0)			摘　要
			A	１／２	V		A	１／２	V	
NO.0+2.7	0.0	0.0	0.1	－	－					NO.0 使用
NO.0+9.6	6.9	8.5	0.1	0.10	0.9					NO.0 使用
小計	6.9	8.5			0.9					
NO.2+15.3	0.0	0.0	0.1	－	－	0.0	0.1	－	－	NO.3 使用
NO.3	4.7	4.8	0.1	0.10	0.5	4.8	0.1	0.10	0.5	
NO.4	20.0	20.0	0.1	0.10	2.0	20.0	0.1	0.10	2.0	
NO.5	20.0	20.0	0.1	0.10	2.0	20.0	0.1	0.10	2.0	
小計	44.7	44.8			4.5				4.5	
合計					m3 5.4				m3 4.5	

縁 石 工 延 長 調 書

測点	歩車道境界ブロック BSC3	歩車道境界ブロック 乗入部用	地先境界ブロック BB3	
NO. 0				
	4.1	3.9		
NO. 1				
NO. 2				
			4.8	
NO. 3				
			20.0	
NO. 4				
			20.0	
NO. 5				
計	m 4.1	m 3.9	m 44.8	

縁石工材料計算書

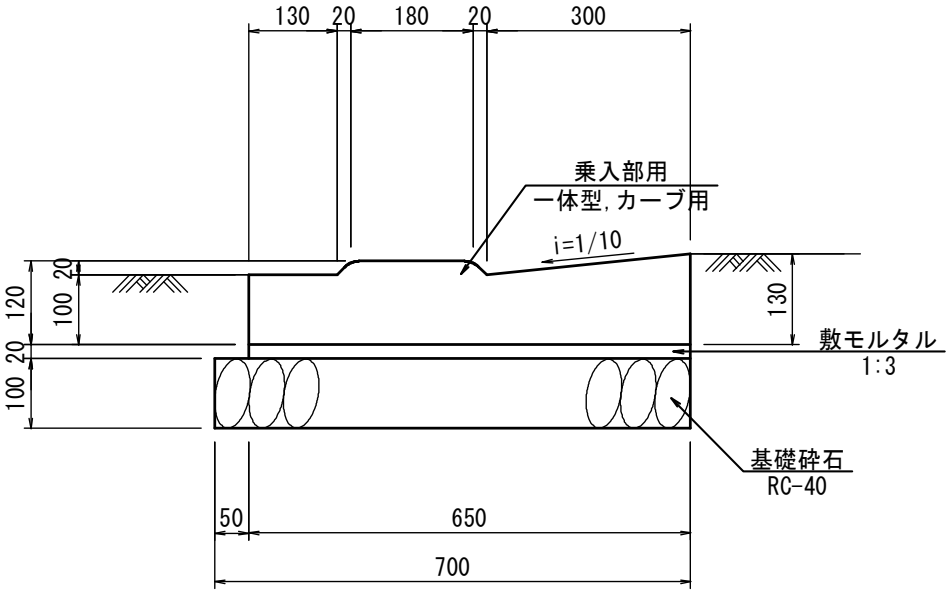
歩車道境界ブロック（BSC3）



名　称	規　格	計　　算　　式	10m当り数量	摘　要
境界ブロック	C種 L=2000	10.0/2.0	個 5.0	
コンクリート	σck=18N/mm2	鳥取県小構造物標準設計図集参照	m3 0.765	
型　枠		―〃―	m2 2.600	
敷モルタル	1:3	―〃―	m3 0.022	
基礎砕石	RC-40 t=10cm	―〃―	m2 7.000	
基面整正		0.70×10.0	m2 7.00	

縁石工材料計算書

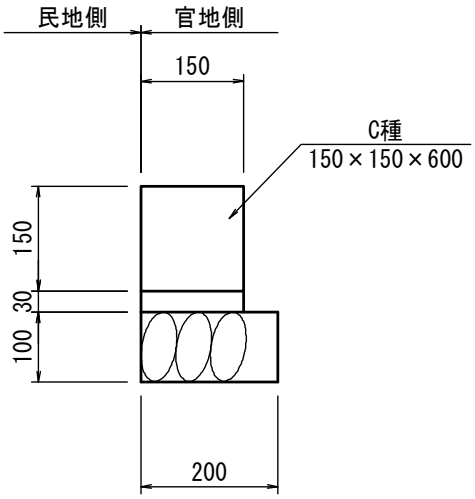
歩車道境界ブロック（乗入部用）



名　称	規　格	計　算　式	10m当り数量	摘　要
境界ブロック	乗入部用，一体型 カーブ用，L=500	10.0/0.50	個 20.0	
敷モルタル	1:3	0.65×0.02×10.0	m3 0.130	
基礎砕石	RC-40 t=10cm	0.70×10.0	m2 7.000	
基面整正		0.70×10.0	m2 7.00	

縁石工材料計算書

地先境界ブロック（BB3）



名　称	規　格	計　　算　　式	10m当り数量	摘　要
地先境界ブロック	C種 150×150×600	鳥取県小構造物標準設計図集参照	個 16.5	
敷モルタル	1:3	―〃―	m^3 0.045	
基礎砕石	RC-40 t=10cm	―〃―	m^2 2.000	
基面整正		0.20×10.0	m2 2.00	

防 護 柵 工 数 量 集 計 表

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
防止柵工				
転落防止柵	コンクリート用 GP　H=1100	m	39.0	

防 護 柵 工 延 長 調 書

測点	転落防止柵 H=1100			
NO. 0				
	9.1 6.0			
NO. 1				
NO. 2	20.2 3.7			
NO. 3				
NO. 4				
NO. 5				
計	m 39.0			

区 画 線 工 数 量 集 計 表

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
区画線工				
ペイント式区画線	実線,白色,W=15cm	m	104.8	外側線

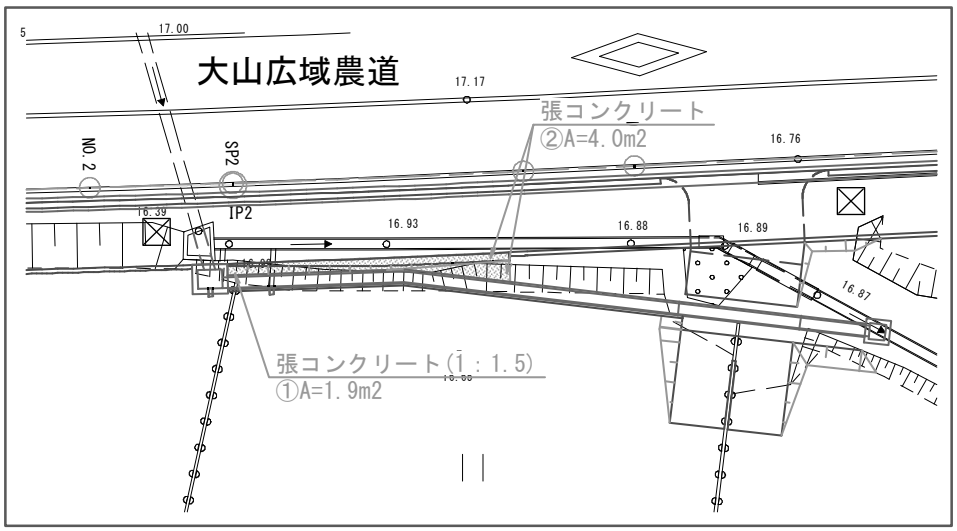
区 画 線 工 延 長 調 書

測点	ペイント式区画線 実線,白色,W=15cm			
NO. 0				
NO. 1	15.9			
NO. 2	20.0			
NO. 3	20.0			
NO. 4	20.0			
NO. 5	20.0			
	8.9			
計	m 104.8			

道路付属施設工数量集計表

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
道路付属物工				
張コンクリート	t=7cm	m２	6.3	

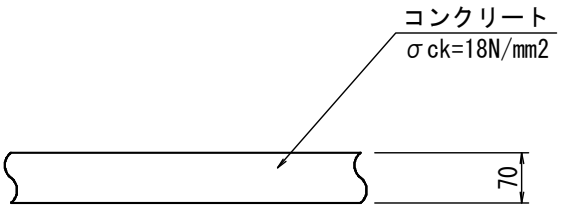
道路付属施設工　数量根拠図



張コンクリート
A=4.0+1.9×1.202(斜率)
=6.3m2

道路付属施設工材料計算書

張コンクリート(t=7cm)



名　称	規　格	計　算　式	10m^{2}当り 数　量	摘　要
コンクリート	σck=18N/mm2	10.0×0.07	m3 0.700	
目 地 材	t=10mm	10.0×0.07/10.0	m2 0.070	

構造物撤去工数量集計表

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
構造物取壊し工				
コンクリート構造物取壊し	鉄筋	ｍ３	3.3	
	無筋	ｍ３	0.3	
コンクリート切断	t=30cm	ｍ	0.2	
舗装版取壊し	アスファルト t=5cm	ｍ２	75.6	
	アスファルト t=3cm	ｍ２	11.5	
舗装版切断	アスファルト t=5cm	ｍ	111.9	
運搬処理工				
殻運搬処理	コンクリート殻 鉄筋	(t) ｍ３	8.3 3.3	3.3×2.5
	コンクリート殻 無筋	(t) ｍ３	0.8 0.3	0.34×2.35
	アスファルト殻	(t) ｍ３	9.6 4.1	4.1×2.35 75.6×0.05+11.5×0.03

構造物撤去工数量計算書

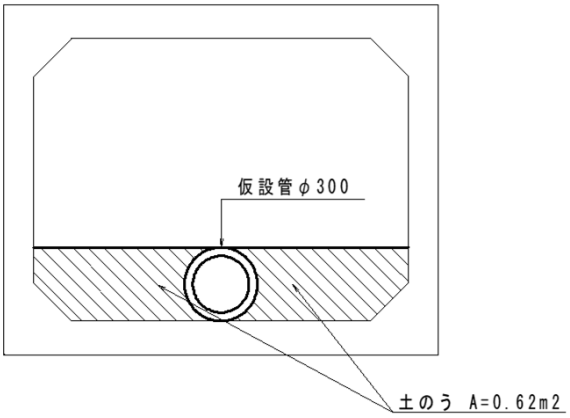
測点	単距離	修正距離	コンクリート構造物取壊し(鉄筋) A	1／2	V	修正距離	コンクリート構造物取壊し(鉄筋) ー	ー	V	摘要
NO.3+4.5	0.0	0.0	0.04	ー	ー					NO.4 使用
NO.4	15.5	15.5	0.04	0.04	0.6					
NO.4+19.9	19.9	19.9	0.04	0.04	0.8					NO.4 使用
小計					1.4					
地覆 NO.0+8.5付近									0.3	
NO.5+10付近									0.04	
別紙計算書より					1.9					
合計					m3 3.3				0.34	
〈殻運搬処理〉										
コンクリート殻		鉄筋			m3 3.3	無筋			m3 0.34	
		3.3×2.50			t 8.3	0.3×2.35			t 0.8	

構造物撤去工数量計算書

測点	単距離	修正距離	舗装版取壊し(t=5cm)			修正距離	舗装版取壊し(t=3cm)			摘要
			W	1／2	A		A	1／2	V	
NO.0+5.5	0.0	0.0	0.9	—	—					NO.0 使用
NO.0+9.6	4.1	4.1	0.9	0.90	3.7					NO.0 使用
—〃—	0.0	0.0	0.7	—	—					NO.1 使用
NO.1	10.4	10.4	0.7	0.70	7.3					
NO.2	20.0	20.0	0.5	0.60	12.0					
NO.3	20.0	20.0	0.6	0.55	11.0					
NO.4	20.0	20.0	0.6	0.60	12.0					
NO.4+19.9	19.9	19.9	0.6	0.60	11.9					NO.4 使用
—〃—	0.0	0.0	1.2	—	—					NO.5 使用
NO.5	0.1	0.1	1.2	1.20	0.1					
—〃—	0.0	0.0	1.4	—	—					
NO.5+10.3	10.3	10.4	1.4	1.40	14.6					NO.5 使用
小計					72.6					
別紙計算書より					3.0				11.5	田乗入部
合計					m2 75.6				m2 11.5	

仮　設　工　数　量　集　計　表

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
仮水路工				
仮設管	高密度ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管(ｼﾝｸﾞﾙ) φ300	m	15.0	
土のう		袋	12	
水替工				
ポンプ排水	作業時排水 Q=150m3/h	日	1	

仮 設 工 延 長 調 書

名　　称	起　点	終　点	延　長	摘　要
仮設管 φ300	NO.0+8.5付近		15.0 m	
土のう	NO.0+8.5付近		12 袋	0.62/(0.15×0.35)=11.8
ポンプ排水 Q=150m3/h	NO.0+8.5付近		1 日	作業時排水